

🌸 英語を声に出して読んでみよう

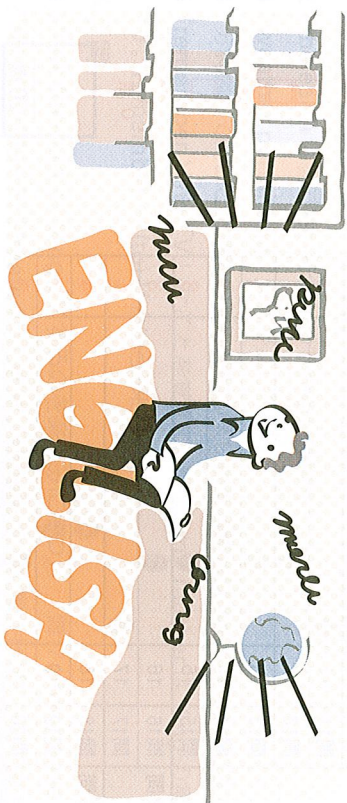
長文でも短文でも、英語は声に出して音読する習慣を身につけることが大切です。声に出して読むことによって、英語特有のリズムや区切れが、だんだんとわかるようになってくるのです。

また、声に出して読みながら同時に意味がわかるといことは、日本語に訳さずに、左から右へと英語の語順のまま意味がわかるということなので、直読の訓練としても役に立ちます。さらに、読解のスピードアップにもつながります。

英語を声に出して読むことに慣れてきたら、次のステップとして、英文を丸ごと暗記してみましょう。日本語を見て、英文がスラスラと読めるようにです。この訓練を続けると、誰もが苦手な英文の攻略に役立ちます。

私たちは日本人なので、勝手に英語を作ることとはなかなかできません。私たちが英作文をするためには、ネイティブの書いたものをそのまま借用するのが一番の近道なのです。ネイティブの書いた正しい英語を、1日1文でもしっかりと暗記してください。頭の中に英文がたまっていくと、それらの英文を組み替えて英作文ができるようになるでしょう。

文法問題が解けるだけではなく、将来的には皆さんに英語が話せるようになってほしいと思います。暗唱した例文が増えてくると、それらを組み替えて、自分の意思を伝えることもできるようになります。音読と暗唱の訓練は将来のための下準備にもなっているわけです。



LEVEL-3 STAGE 3

ENGLISH GRAMMAR WORKBOOK
STEP BY STEP

第7章 関係詞

第8章 比較

第9章 仮定法

第10章 その他

関係詞

▶ 関係詞には、関係代名詞と関係副詞があります。関係代名詞は大きく主格、所有格、目的格に分かれます。主格の後ろには動詞が置かれ、所有格の後ろには先行詞の所有物にあたる名詞が置かれ、目的格の後ろには目的語の抜けた不完全な文が置かれます。関係副詞の後ろには完全な文がきます。

1 関係代名詞の目的格

問 The girl ☐ used to work for our company.

- ① you were talking to ② you were speaking
③ who were you talking to ④ whom you were talking

〔同志社大（経）〕

関係代名詞の目的格 (whom, which, that) の後ろには、目的語が抜けた不完全な文がこなければなりません。「目的語が抜けている」ということは、「文が他動詞や前置詞で終わった不完全な文」になっているということです。

そして、「目的語の抜けている部分に先行詞を持つてくると、文が完成する」ということも覚えておきましょう。

また、この問題のように、目的格の関係代名詞は省略されることも多いのです。例題でも目的格の関係代名詞 (whom) が省略されていると考えて、前置詞の後ろに名詞が抜けている① you were talking to を選びましょう。

「話しかける」という意味の talk は自動詞なので、後ろに名詞を続ける場合は前置詞が必要になります。

解答⇒ 1 (訳：あなたが話していた女の子は、かつて私たちの会社で働いていた。)

2 関係代名詞の what

問 I will do ☐ I can do for you.

- ① which ② how ③ what ④ that

〔関西外語大〕

ここでの what は「the thing(s) which」と書き換えることができますように、先行詞の中に含んだ「……なごと[もの]」という意味を表す特殊な関係代名詞です。もちろん名詞の働きをするので、主語、目的語、補語、前置詞の後ろに置くことができます。また、関係代名詞の what は、主格としても目的格としても使うことができるので、後ろには動詞か不完全な文が続きます。

これに対して、名詞節を作ることができる接続詞の that は、後ろに完全な文が続いて「that S V」という形になり、「SがVすること」という意味を表します。また意味的にも、what は具体的なものを想起しながら言うように使うのに対し、that は「……という事実」といったニュアンスで使われます。

ここでは、do という他動詞の後ろに目的語の抜けた不完全な文が続いているので、③ what を選びましょう。

解答⇒ 3 (訳：私は君のためにできることをしよう。)

3 関係副詞

問 The day will come ☐ you will realize it.

- ① how ② that ③ what ④ when

〔千葉商大（経済）〕

この問題では、主語の後ろに続く関係副詞の節が長すぎるので、全体を整えるために後回しにされています。ですから、先行詞は the day で、空所から後ろが先行詞 the day の修飾部分だと考えましょう。空所の後ろには目的語を持った完全な文が続いているので、時を表す関係副詞の④ when を選びましょう。

解答⇒ 4 (訳：あなたがそれを実現する日が来るだろう。)

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

- 1 The king had a daughter □1 was very beautiful.
 ① who ② whose ③ whom ④ those who [東海大(文)]
- 2 We should vote for a candidate □2 we believe is faithful.
 ① which ② who ③ whose ④ whom [明の星女子短大]
- 3 Gerry, □3 mother is French, speaks both French and English fluently.
 ① who ② whom ③ whose ④ what [金沢短大<改>]
- 4 I have never heard of the name of the restaurant □4 Ben mentioned.
 ① when ② why ③ where ④ which [明の星女子短大]
- 5 I still cannot understand the reason □5 he gave me yesterday.
 ① what ② why ③ which ④ for which [京都外国語短大]
- 6 Mr. White, □6 I introduced you last Monday, wants to see you again.
 ① whom ② that ③ to whom ④ of whom [実践女子短大<改>]

□1 王様にはとても美しい娘がいた。

□1⇒① who
 ▶先行詞が人で後ろに動詞がきているので、ここには関係代名詞の主格 ① who を使ったとわかります。

□2 私たちは信用できると信じる候補者に投票するべきだ。

□2⇒② who
 ▶関係代名詞の主格の who や which の後ろには、that 節をとる believe や think などの動詞を使った節を挿入することができます。ここでは、we believe を挿入部分だと考えて、a candidate を先行詞とする関係代名詞の主格 ② who を答えとしましょう。

□3 お母さんがフランス人であるゲリーは、フランス語と英語を両方とも流暢に話す。

□3⇒③ whose
 ▶ここでは、先行詞 Gerry の所有物にあたる mother が後ろにきているので、関係代名詞の所有格 ③ whose が答えです。

□4 私はベンが話題にした飲食店の名前を聞いたことがない。

□4⇒④ which
 ▶mention は他動詞だから、空所の後ろは目的語が抜けている不完全な文です。よって、空所の中には関係代名詞の目的格が入ります。④ which が正解です。

□5 昨日彼が言った理由を私はまだ理解できない。

□5⇒⑤ which
 ▶先行詞の reason につられて ② why を選ばないように注意。ここでは、後ろに第4文型の give O O の目的語が1つ抜けた不完全な文が続いているので、関係代名詞の目的格の ③ which を選ぶこと。この which は、he gave me the reason of the reason に相当する働きをしています。

□6 先週の月曜日にあなたを紹介したホワイト氏が、またあなたに会いたがっています。

□6⇒⑥ to whom
 ▶「AをBに紹介する」というときは、introduce A to B という熟語を使います。ここでは、to の部分が関係代詞の前に出てきている形です。

□ 7 That was the year □ 7 I was born.

頭

- ① where ② into which
③ in which ④ at which

〔大阪経大（経）〕

□ 8 Canada is the first country □ 8 I visited.

- ① at which ② that ③ where ④ of which

〔東横学園女子短大〕

□ 9 His house stands on a hill □ 9 he can have a full view of the lake.

- ① which ② how ③ where ④ when

〔愛知淑徳短大〕

□ 10 The southern part of England is □ 10 the cornfields commonly

難

- are found.
① that ② what ③ where ④ which

〔目白学園女子短大〕

□ 11 She said she had read the book before, □ 11 proved to be a lie.

頭

- ① who ② which ③ what ④ that

〔桜美林短大〕

□ 12 □ 12 is often the case with her, she was late for school this

頭

- morning, too.
① As ② What ③ That ④ But

〔昭和女子大短大部〕

□ 7 あれは私の生まれた年だった。

□ 7 ⇒ ③ in which

▶ この文は、That was the year which I was born in. と書き換えることもできます。ここでは、文末の前置詞 in が which の前に移動したと考えて、③ in which を選ぶこと。in が文末にあるときは which（目的格）を省略できますが、in which の which は省略できません。なお、in which = when と書き換えられます。

□ 8 カナダは私が訪れた最初の国だ。

□ 8 ⇒ ② that

▶ 空所の後ろには、他動詞の visit で終わる不完全な文が続いているので、ここでは関係代名詞の目的格の ② that を選ぶこと。ちなみに、先行詞に the first, the only など、強い修飾語が付いている場合、関係代名詞には普通 that を使います。

□ 9 彼の家は湖が見渡せる丘の上に立っている。

□ 9 ⇒ ③ where

▶ 空所の後ろが完全な文になっていることに注目しましょう。そして、先行詞が「a hill」で場所を表しているので、関係副詞の ③ where が正解になります。

□ 10 イングランドの南部は、一般的にトウモロコシ畑が見られるところだ。

□ 10 ⇒ ③ where

▶ the place など、わかりきった先行詞が関係副詞の前にくるときは、省略されることもあります。ここでは、空所の前にはずの the place が省略されていて、where S V だけで「S が V する場所」という意味になっています。

□ 11 彼女はその本を以前に読んだと言ったが、それはうそだとわかった。

□ 11 ⇒ ② which

▶ 関係代名詞の which は、前の文や節全体を先行詞にすることができます。ここでは、前の節「She said she had read the book before,」が ② which の先行詞となっています。

□ 12 彼女にはよくあることなのだが、彼女は今朝も学校に遅れた。

□ 12 ⇒ ① As

▶ as is often the case with ～ は「～にはよくあることだが」という、特殊な関係代名詞 as を用いた慣用表現です。この as は、カンマの後ろの内容を指しています。

□13 When I visited my hometown this summer, I found the city different from □13 it had been ten years before.

- ① which ② where ③ what ④ that

[英検準2級<改>]

□14 I didn't buy anything because I didn't see □14 I wanted.

- ① who ② whose ③ which ④ what

[別府大]

□15 The tourist information center gave a city map to □15 asked for it.

- ① anybody ② whom ③ whatever ④ whoever

[英検準2級]

□16 There is not one of us □16 wishes to help you, for you are loved by everybody.

- ① that ② who ③ but ④ as

[四天王寺国際仏教大短大部]

□17 This book is interesting, and □17 is more, very instructive.

- ① which ② how ③ that ④ what

[山陽学園短大]

□18 The □18 is one who stands up for his or her rights.

- ① person, whom I respect most
② person I respect most
③ person whom I respect to most
④ person who respects most

[昭和女子大短大]

□13 今年の夏に私が故郷を訪れたとき、私はその街が10年前のその街と異なっていることに気づいた。

□13 ⇒ ③ what

▶ what ~ was は「昔の～」という意味の what を使った熟語表現で、what ~ used to be にも書き換えることができます。ここでは found よりもさらに前の時点を指すので、was ではなく過去完了形の had been が使われています。

□14 私は欲しいものが見あたらなかったのも何も買わなかった。

□14 ⇒ ④ what

▶ ここでは空所の前に先行詞がないので、先行詞を中に含み、後ろに不完全な文をとる、「こと」「もの」という意味の関係代名詞 ④ what を選びましょう。

□15 その旅行案内所は、都市の地図を求める人なら誰にでもそれを与えた。

□15 ⇒ ④ whoever

▶ 先行詞を含んだ関係代名詞の表現 whoever V (V する人は誰でも) という形にあてはまる ④ whoever が正解。これは anybody who V と書き換えることもできます。また、whomever S V φ (S が V する人は誰でも) は anybody whom S V φ と書き換えることができます。(φ…目的語が抜けている印)

□16 あなたを助けたいと思わない人は、私たちの中に誰もいません。あなたはみんなに愛されていますから。

□16 ⇒ ③ but

▶ 否定の意味をもつ関係代名詞 ③ but が正解。この but という関係代名詞は、主に二重否定の文で使われて、「否定語 先行詞 but ……」の形で「……ない〜はない」という意味になりますが、現代の口語ではほとんど使われません。

□17 この本はおもしろくて、さらに、とてもためになる。

□17 ⇒ ④ what

▶ what is more は、関係代名詞 what を使った「さらに、その上」という意味の熟語です。これは、副詞の moreover や furthermore に書き換えることができます。

□18 私が最も尊敬する人は、自らの権利のために立ち上がる人である。

□18 ⇒ ② person I respect most

▶ 「私が最も尊敬する」という意味を表すためには、関係代名詞の目的格が先行詞の後ろで省略され、後ろに respect という他動詞の目的語が抜けた不完全な文がきている ② を選ぶこと。①は、most の後ろにカンマ (,) が必要です。

□ 19 Robert is not at all [19] he used to be ten years ago.

難

- ① which ② what ③ whom ④ that

[金蘭短大]

□ 20 [20] about John was that he had stayed for a while in Tokyo.

頻

- ① That I knew
② What I knew
③ Whatever I know
④ The little information that I know

[駒澤短大]

■ 問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 Ted ① is going to ② build a house ③ which roof ④ is red.

誤り = [21]

[東海大 (法・教養)]

□ 22 At the airport, I ① was waiting ② for some relatives ③ whom I had never ④ met them before.

誤り = [22]

[明海大 (総)]

□ 23 Economics ① is not an easy subject but ② one that ③ is very useful to anyone ④ which wants to know the mechanism of a society.

誤り = [23]

[大阪経大 (総)]

□ 19 ロバートは全く10年前の彼ではない。

[19] ⇒ ② what

▶ what ~ used to be は「昔の～」という意味の熟語表現です。これは what ~ was という形でも表すことができます。「今の～」というときには、be動詞を現在形にして what ~ is とします。

□ 20 私がジョンについて知っていたことは、彼がしばらくの間東京に滞在していたことだ。

[20] ⇒ ② What I knew

▶ 関係代名詞の what は「こと」「もの」という意味で、先行詞を中に含み、後ろには不完全な文が続きます。what の節は名詞の働きをするので、主語や目的語、補語の位置に置かれます。この文は SVC の構造を持ち、S が what の節で、C は「……ということ」という意味を表す接続詞の that で始まっています。

□ 21 テッドは赤い屋根の家を建てるつもりだ。

[21] ⇒ ③ which → whose

▶ 先行詞の house の所有物である roof が後ろに続いているので、③ which を所有格 whose に訂正しましょう。

□ 22 空港で、私はそれまで一度も会ったことのない親戚を待っていた。

[22] ⇒ ④ met them → met

▶ 関係代名詞 whom の後ろには、他動詞や前置詞で終わる不完全な文がこなければなりません。ここでは、目的語 (them) のある完全な文ができてしまっているので、④ met them を met にして目的語がない不完全な文にしなければなりません。

□ 23 経済学は簡単な教科ではないが、社会の仕組みを知りたい人なら誰にでもとても役に立つ教科である。

[23] ⇒ ④ which → who

▶ 先行詞が anyone という人を表す言葉なのに、関係代名詞が which になっていきます。④にある which を who に訂正しなければなりません。②の one は a subject の意味であり、その後ろの that は主格の関係代名詞です。

■問3：日本語に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

□24 ビールを飲む女性が，最近増えている。

- The _____ of late.
 ① women ② drink ③ beer ④ number
 ⑤ increasing ⑥ who ⑦ is ⑧ of

[武庫川女子大短大部]

□25 彼は大学がいくつかある町に住んでいる。

- _____ several colleges.
 ① in ② where there ③ a town ④ are
 ⑤ he lives ⑥ several colleges

[東海大（理・工）]

□26 アフリカで飢えに苦しんでいる人々には，早急な援助が必要である。

- _____ in Africa need urgent help.
 ① hunger ② suffering ③ those ④ who
 ⑤ are ⑥ from

[四天王寺国際仏教大短大部]

□27 僕が昔好きだったあの少女はどうなっただろうか。

- I _____ I used to feel affection.
 ① the girl ② for ③ of ④ what
 ⑤ whom ⑥ has ⑦ wonder ⑧ become

[愛知女子短大]

□28 短くておもしろい物語の本を貸してくださいませんか。

- Could you please _____ interesting?
 ① short ② me ③ a storybook ④ and
 ⑤ lend ⑥ which ⑦ is

[武庫川女子大短大部]

□24 The number of women who drink beer is increasing of late.

▶ 主格の関係代名詞 who を使う文です。主格の関係代名詞 who の後ろには動詞が続き，先行詞には人を表す言葉がきます。of late (最近) という熟語にも注意。また，The number of 〜 (〜の数) が主語になるとき，動詞は単数で受けることにも注意しましょう。

□25 He lives in a town where there are several colleges.

▶ where という関係副詞は，場所を表す先行詞をとり，後ろには完全な文が続きます。なお，関係副詞の where は，関係代名詞の目的格を使った in which や at which にも書き換えることができます。

□26 Those who are suffering from hunger in Africa need urgent help.

▶ 関係代名詞の主格の who を使った those who V という表現は，「V する人々」という意味です。「〜で苦しむ」は，suffer from 〜 という熟語で表します。

□27 I wonder what has become of the girl for whom I used to feel affection.

▶ この文はもともと，「.... the girl whom I used to feel affection for」だったと考えます。文末の for という前置詞が関係代名詞の whom の前に移動して，「.... the girl for whom I used to feel affection」という正解の文になったわけです。what has become of 〜 (〜はどうなったか) という熟語にも注意。なお，feel affection for 〜 は「〜に愛情を感じる」という意味です。

□28 Could you please lend me a storybook which is short and interesting?

▶ 関係代名詞の主格 which が使われています。主格の関係代名詞の後ろには，動詞が続きます。Could you V? は丁寧なお願いをする表現です。

比較

▶ 比較の問題に強くなるためには、比較の基本用法を覚えると共に、さまざまな慣用表現をきちんと暗記することが必要です。問題を解きながら、比較の重要表現をしっかりと覚えていきましょう。

1 比較の強調

問 Light travels ☐ than sound.

- ① fast enough ② more fast
③ much faster ④ rather more faster

[京都産業大 (経営・外・法)]

比較級を強調するには、much, far, even, stillなどの副詞を使います。「the 最上級」を強調するには、muchやby farを使います。さらに「the very 最上級」という強調の方法があることも覚えておきましょう。

ここでは、fastの比較級fasterを強調するための正しい形を選ばよいので、

③ much fasterが正解です。

解答⇒ 3 (訳：光は音よりもはるかに速く進む。)

比較級の強調

(はるかに…, さらに…)

- ☐ much 比較級
☐ far 比較級
☐ even 比較級
☐ still 比較級

最上級の強調

(群を抜いて…)

- ☐ much the 最上級
☐ by far the 最上級
☐ the very 最上級

2 倍数表現

問 The population of China is about ☐ that of Japan.

- ① ten times as large as ② as large ten times
③ as ten times large as ④ as ten times as large

[立命館大 (法)]

2倍、3倍などの倍数を表現するには、**倍数詞 as ... as** という形を使います。倍数詞には、「☐倍」というときは「☐ times」, 2倍のときには**twice**も使えます。また half (2分の1) などの分数が使えることにも注意しましょう。

解答⇒ 1 (訳：中国の人口は日本の約10倍だ。)

3 比較を使った最上級

問 This apartment ☐ in the building.

- ① is biggest than any other one
② is the biggest in any other one
③ is bigger than any other one
④ are bigger than any other ones

[東京電機大<改>]

最上級の意味を表すために、最上級以外のさまざまな形を使うこともできます。例えば **比較級 than any other** ～ という形は「他のどんな～よりも…」という意味で、最上級と同じ内容を表すことができます。ここでは③が正解。下の書き換え例文で最上級と同等の表現を確認しておきましょう。

解答⇒ 3 (訳：この部屋は、その建物の他のどの部屋よりも大きい。)

- ☐ Mt. Fuji is the **highest** mountain in Japan.
= **No other** mountain in Japan is **higher than** Mt. Fuji.
= Mt. Fuji is **higher than any other** mountain in Japan.
= Mt. Fuji is as high as **any** mountain in Japan.

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

□1 Truth is 1 than fiction.

- ① strange ② stranger
③ strangely ④ strangeness

[東海大 (文)]

□2 Which city has 2 rainfall, Sendai or Fukuoka?

- ① less ② lesser ③ smaller ④ least

[昭和女子大]

□3 Of the two toys, the little boy chose the 3 .

- ① one most expensive ② less expensive
③ least expensive ④ expensive of them

[上智短大<改>]

□4 Eddie talks 4 in his class.

- ① less than ② as much
③ the most ④ more than

[共立女子短大]

□5 I like English better than 5 subject.

- ① every ② any other
③ some other ④ all the other

[東京成徳短大]

□6 Christchurch is 6 in the world.

- ① one of the most beautiful cities
② one of most beautiful cities
③ one of the most beautiful city
④ one of most beautiful city

[金蘭短大]

□1 事実は小説よりも奇なり。(ことわざ)

□1⇒② stranger

▶▶▶形容詞や副詞を比較級にするには、語尾に -er を付ける方法と前に more を置く方法があります。strange のような短めの単語には、通常 -er を付ける方法がとられます。

□2 仙台と福岡、どちらの都市の方が雨が少ないですか。

□2⇒① less

▶ここでは、仙台と福岡の降水量を比較しています。降水量などの「量」が少ないという場合には、little という形容詞を使うので、ここでは little の比較級の less が入ります。little は、little-less-least と活用します。

□3 2つのおもちゃのうち、その小さい男の子は安い方を選んだ。

□3⇒② less expensive

▶「2人の中で」とか「2つの中で」という場合には、日本語でも「一番…」という言葉は使わずに「…な方」という表現を使います。英語でも「2人[2つ]の中で…な方」というときには、「the 比較級」という形を使います。

□4 エディは彼のクラスの中で一番よく話す。

□4⇒③ the most

▶「たくさん」という意味の much を比較級にすると more、最上級にすると most となります。ここでは「エディが一番話す」という意味にするのが自然なので、③ the most という最上級の選択肢を選びましょう。

□5 私は他のどの教科よりも英語が好きだ。

□5⇒② any other

▶「他のどんな～よりも…」という意味を表すには、「比較級 than any other 単数名詞」という構文を使います。この構文では、any other の後ろが単数名詞になることに特に注意すること。また、この文は I like English the best of all subjects. というような、最上級を使った表現にも書き換えることができます。

□6 クライストチャーチは世界で最も美しい町の1つだ。

□6⇒① one of the most beautiful cities

▶▶▶「最も…なものの中の1つ」という表現をするには、「one of the 最上級 複数名詞」という形を使います。名詞は複数形を使うことに特に注意しましょう。ちなみに、クライストチャーチはニュージーランドにある都市です。

□ 7 No other mountain in Japan is □ 7 Mt. Fuji.

- ① as higher as ② higher than
③ not as high as ④ the highest of

[京都産業大 (経営・法・理・工)]

□ 8 This restaurant is □ 8 nicer than the one we went to yesterday.

- ① much ② more ③ too ④ very

[金蘭短大]

□ 9 That dog was □ 9 wild as a wolf.

- ① much ② too ③ as ④ all

[駿河台大 (法)]

□ 10 This is the most beautiful picture I □ 10 .

- ① have never seen ② have ever seen
③ have not seen until now ④ had never seen

[関西外国語大短大部]

□ 11 I have an American friend named Tony. □ 11 he stays in Japan, the better his Japanese gets.

- ① The older ② The higher
③ The longer ④ More long

[英検準2級]

□ 12 I love the girl all □ 12 for her being poor.

- ① the more ② more
③ most ④ better

[獨協大 (外) <改>]

□ 7 日本には富士山よりも高い山はない。

□ 7 ⇒ ② higher than

▶ 否定語と比較を組み合わせると、最上級と同じような意味を表すことができます。この問題文は、Mt. Fuji is the highest of all the mountains in Japan. という最上級を使った文に書き換えられます。

□ 8 このレストランは、昨日私たちが行ったところよりずっとよい。

□ 8 ⇒ ① much

▶ 比較級の形容詞や副詞を強調する場合には、much, far, even, still などを使います。very は使えないことに注意しましょう。

□ 9 あの犬は、狼と同じくらい野生的であった。

□ 9 ⇒ ③ as

▶ 「～と同じくらい…」という意味を表現するには、「as 原級の形容詞 [副詞] as ～」という形を使います。as a wolf の as を単独の前置詞として考えれば「狼として」の意味になりますが、主語が dog なので「狼として…」では意味が通じません。よって③が正解になります。

□ 10 これは私が今まで見た中で最も美しい写真だ。

□ 10 ⇒ ② have ever seen

▶ 「the 最上級 ～ (that) S have ever Vpp」という構文で、「これまでに S が V した中で一番…な～」という意味を表すことができます。

□ 11 私にはトニーという名のアメリカ人の友達がいる。彼が日本に滞在すればするほど、ますます彼の日本語は上達していく。

□ 11 ⇒ ③ The longer

▶ 「the 比較級 S₁ V₁, the 比較級 S₂ V₂」は、「…に S₁ が V₁ するほど、…に S₂ は V₂ する」という、比例を表すことができる構文です。

□ 12 私は彼女が貧乏なのでますます好きだ。

□ 12 ⇒ ① the more

▶ 「all the 比較級 for ～」, また 「all the 比較級 because S V」は、「～ [SはV] なのですから…」という意味になります。名詞が続くときには for ～, 節が続くときには because S V を使う点に注意しておきましょう。

□13 There were □13 a hundred trees in the park.

難

- ① not more as ② as more than
③ less many than ④ no less than

[東京都立医療技術短大<改>]

□14 The population of Italy is about □14 that of Japan.

難

- ① as half as ② half less than
③ half larger than ④ half as large as

[四天王寺国際仏教大短大部]

□15 This wine is □15 to that in flavor.

- ① better ② more ③ inferior ④ worse

[南山大 (外)]

□16 The quality of school facilities in Japan is at about the same level

難

□16 in Britain.

- ① as one ② as that
③ as those ④ so that

[京都産業大<改>]

□17 This picture, to say the □17, is one of the most impressive I have seen.

- ① nothing ② best ③ most ④ least

[梅花短大<改>]

□18 Of course he is quite a good writer, but he is a journalist □18 than a scholar.

- ① better ② either ③ further ④ rather

[京都産業大 (経・理・工・外)]

□13 公園には百本もの木があった。

□13⇒ ④ no less than

▶ no less than ~ は「～も、～ほど多く」という意味で、as many[much] as ~ とも書き換えることができる重要熟語です。no more than ~ だと「～しか」という意味になり、only ~ に書き換えることもできます。

□14 イタリアの人口は日本の人口の約半分だ。

□14⇒ ④ half as large as

▶ 「～倍」や「半分」というような倍数や分数を表現するには、「倍数 [分数] as ... as ~」という形を使うことができます。population (人口) が「多い」「少ない」というときには、large や small を使うことにも注意しましょう。

□15 このワインはあのワインよりもまずい。

□15⇒ ③ inferior

▶ inferior (劣っている), superior (優れている) のような形容詞を使う場合には、「～よりも」を表現するのに than を使わずに to を使います。その他, junior (年下である) や senior (年上である) のような形容詞の後ろにも, to がくるので注意しましょう。

□16 日本の学校の施設の質は、イギリスのそれとほぼ同水準である。

□16⇒ ② as that

▶ the same (同じ) という表現は、普通は後ろに as をとちないます。また、この文では「日本の学校の施設の質」と「英国の学校の施設の質」を比較しているわけですから、空所には as the quality of school facilities が入るはずですが、ただしここでは、the quality of school facilities の反復を避けて that が使われています。

□17 控えめに言っても、この絵は私が今まで見た中で最も印象深いものの1つだ。

□17⇒ ④ least

▶ to say the least は「控えめに言っても」という意味の重要熟語。ちなみに least は little の最上級で「最も少ない量」という意味を表します。

□18 もちろん彼は文章を書くのがとても上手だが、しかし彼は学者というよりむしろ報道記者だ。

□18⇒ ④ rather

▶ A rather than B は「BというよりもむしろA」という意味です。これは、not so much B as A とも書き換え可能です。

□ 19 She is not 19 an actress as a singer.

類

- ① as beautiful ② so famous
③ as such ④ so much

[早大 (理工)]

□ 20 Mary knows 20 to do such a thing.

類

- ① too clever ② clever enough
③ better than ④ more than

[四天王寺国際仏教大]

■ 問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 You simply ① must see this movie. It's ② the best exciting film

③ I've ④ ever seen in my life!

誤り = 21

[学習院女子短大]

□ 22 She ① thinks she is superior ② than ③ us because her father is ④ such an important man and ⑤ is respected by everybody.

誤り = 22

[梅花短大]

□ 23 The more ① it is dangerous, ③ the more ④ I like it.

誤り = 23

[和光大 (表現)]

□ 19 彼女は女優というよりもむしろ歌手である。

[19] ⇒ ④ so much

▶ not so much B as A は「B というよりもむしろ A」という意味です。これは、A rather than B に書き換えることができます。

□ 20 メアリーは、そんなことをしないだけの分別はある。

[20] ⇒ ③ better than

▶ know better than to V は「V するほど馬鹿ではない」、すなわち「V しないくらい分別はある」という意味になります。know better だけでも「分別がある」という意味で使うことができます。

□ 21 あなたはこの映画だけは見なければならぬ。生まれてこのかた私が見た中で最もわくわくする映画だ。

[21] ⇒ ② the best → the most

▶ exciting という形容詞を最上級にするには、形容詞の前に most を置けばよいので、best を most に訂正しなければなりません。best は good や well の最上級です。

□ 22 彼女の父親はとても重要な人物で、皆に尊敬されているので、彼女は自分たちがよりも優れていると思っています。

[22] ⇒ ② than → to

▶ superior (優れている) や, inferior (劣っている) という形容詞の後ろでは, than ではなく to を使います。熟語として覚えておきましょう。

□ 23 それが危険であればあるほど、私はそれを好む。

[23] ⇒ ② it is dangerous → dangerous it is

▶ the 比較級 S₁ V₁, the 比較級 S₂ V₂ (…に S₁ が V₁ すればするほど, …に S₂ は V₂ する) の形です。形容詞 dangerous の比較級は more dangerous なので, ① The more の直後に dangerous がきて, S₁ V₁ にあたる it is は dangerous の後ろに置くのが正しい語順です。

■問3：日本文に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

□24 オーディションの準備するのに1ヵ月もないんだよ。

- You have 24 25 ready for the audition.
 ① than ② to ③ less ④ get
 ⑤ a month

〔小樽女子短大〕

□25 時間を戻すことはできないのと同様に，僕の決心を揺るがすことはできない。

- You can 26 27 .
 ① shake ② than ③ more ④ time
 ⑤ turn back ⑥ you can ⑦ no ⑧ my resolution

〔成城短大〕

□26 天気の良い秋の日ほど気持ちのよいものはない。(1語不要)

- There 28 29 a fine autumn day.
 ① pleasant ② is ③ so ④ nothing
 ⑤ more ⑥ as

〔田中千代学園短大〕

□27 ロンドンの人口はイギリスの他のどの都市よりもはるかに多い。

- ◆ The population of London is 30 31 British city.
 ① any ② that ③ greater ④ other
 ⑤ than ⑥ of ⑦ much

〔梅花短大〕

□28 このクーラーは旧式の半分の電力しか必要としません。

- This air conditioner 32 33 as the old model.
 ① much ② half ③ requires ④ only
 ⑤ electric ⑥ as ⑦ power

〔梅花短大〕

□24 You have **less than** a month to get ready for the audition.

- ▶ 24 ⇒ ① 25 ⇒ ② (3-1-5-2-4)
 ▶ **※** little の比較変化は，little-less-least です。ここでは，less than ～で「～よりも少ない」という意味になっています。反対は，more than ～です。

□25 You can **no more** shake my resolution **than** you can turn back time.

- ▶ 26 ⇒ ③ 27 ⇒ ② (7-3-1-8-2-6-5-4)
 ▶ **no more ... than** ～は「～でないのと同様に…ではない」という否定の構文。
no less ... than ～は「～と同様に…である」という肯定の構文になります。

□26 There is **nothing so pleasant as** a fine autumn day.

- ▶ 28 ⇒ ④ 29 ⇒ ① (2-4-3-1-6) 不要=⑤ more
 ▶ 否定語 as[so] ... as ～は「～ほど…なものはない」という意味で，最上級と同じような内容を表すことができます。この文は，A fine autumn day is the most pleasant thing. にも書き換えられます。

□27 The population of London is **much greater than** that of any other British city.

- ▶ 30 ⇒ ③ 31 ⇒ ② (7-3-5-2-6-1-4)
 ▶ **△** ロンドンの人口と他のイギリスの都市の人口を比較しているわけですから，than の後ろには本来 the population がこなければなりません。ただし，ここでは同じ名詞の反復を避けて，代名詞の that が使われています。「はるかに多い」は，比較級の greater を much で強調して表します。

□28 This air conditioner **requires only half as much** electric power as the old model.

- ▶ 32 ⇒ ④ 33 ⇒ ⑥ (3-4-2-6-1-5-7)
 ▶ 倍数や分数を表現するには，倍数 [分数] as ... as という形を使います。「2分の1」は half，「～倍」は ～ times というように表します。

仮定法

▶ 現実にはありえないことを表して、「もしも……ならば」というような場合に使われるのが仮定法です。ここでは仮定法の最も基本的な形を、時制に注意して学んでいきましょう。

1 仮定法過去

問 If I were a little younger, I ☐ you in climbing the mountain.

- ① have joined ② join
③ will join ④ would join

[センター試験 (追)]

現在の事実と反する仮定をするときには、「仮定法過去」といって if S_1 V_{1p} , S_2 would V_2 (もしも S_1 が V_1 するならば, S_2 は V_2 するだろう) という形を使います。仮定法では be 動詞は was よりも were が好んで使われ、助動詞は would の代わりに should, could, might など使われます。

解答⇒4 (訳: 私がもう少し若かったら、あなたと山登りをするのに。)

2 仮定法過去完了

問 If we had taken the other road, we ☐ earlier.

- ① can have arrived ② may arrive
③ might be to arrive ④ might have arrived

[龍谷大 (文)]

過去の事実と反する仮定をするときには、「仮定法過去完了」といって if S_1 had V_{1pp} , S_2 would have V_{2pp} (もしも S_1 が V_1 していたならば, S_2 は V_2 していただろう) という形が使われます。この形でも助動詞は would の代わりに should,

could, might が使われることがあります。

解答⇒4 (訳: もし他の道路を通っていたら、私たちはもっと早く着いていたかもしれない。)

3 仮定法未来

問 If the sun ☐ to disappear, what would become of the earth?

- ① were ② would ③ could ④ should

[京都外国語短大<改>]

未来に起こる可能性が全く[ほとんど]ないことを仮定をする場合には, if S_1 were to V_1 , S_2 would V_2 (万が一 S_1 が V_1 するならば, S_2 は V_2 するだろう), もししくは if S_1 should V_1 , S_2 would[will] V_2 (万が一 S_1 が V_1 するならば, S_2 は V_2 するだろう) の形を使います。

解答⇒1 (訳: 万が一太陽が消えたら、地球はどうなるでしょう。)

仮定法の基本形

☐ 現在の事実と反する仮定

If S_1 V_{1p} , S_2 would V_2

▶ もしも S_1 が V_1 するならば, S_2 は V_2 するだろう。

☐ 過去の事実と反する仮定

If S_1 had V_{1pp} , S_2 would have V_{2pp}

▶ もしも S_1 が V_1 していたならば, S_2 は V_2 していただろう。

☐ 未来に起こる可能性が全く[ほとんど]ないことを仮定

If S_1 should V_1 , S_2 would[will] V_2

If S_1 were to V_1 , S_2 would V_2

▶ 万が一 S_1 が V_1 するならば, S_2 は V_2 するだろう。

※仮定法の文では基本的に、主節に would などの助動詞の過去形が使われることに注意。

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

□1 If I were you, I □1 for the job.

類

- ① will apply ② would apply
③ will have applied ④ applied

[京都女子大 短大部]

□2 If Tim □2 in your position, he would be able to advise Sachiko.

- ① were ② am ③ be ④ is

[明の星女子短大]

□3 I □3 do that if I were you.

- ① won't ② wouldn't ③ shan't ④ don't

[札幌大女子短大部]

□4 Edward says that he □4 the job offer if he were in my place.

- ① will not accept ② will not have accepted
③ would not accept ④ would not be accepted

[英検準2級]

□5 □5 in your place, I would not forgive his betrayal.

類

- ① I were ② If were I
③ Were I ④ Were if I

[北海道大 (経)]

□6 If I had followed your advice, I □6 .

- ① will succeed ② would succeed
③ would have succeeded ④ succeed

[上智短大]

□1 もし私があなたなら、私はその仕事に申し込んでいるのに。

□1 ⇒ ② would apply

▶ 現在の事実と反する仮定を表す仮定法過去の文であることが were からわかるので、would を使った ② would apply を選びましょう。apply for 〜 (〜に申し込む) は重要熟語です。

□2 もしタイムがあなたの立場にいれば、サチコに助言できるのに。

□2 ⇒ ① were

▶ 現在の事実と反する仮定を表す仮定法過去の文であることが would からわかるので、過去形の ① were を選びましょう。

□3 もし私があなただったら、そんなことはやらないだろう。

□3 ⇒ ② wouldn't

▶ これは現在の事実と反する仮定を表現する、仮定法過去の文。if 節が後ろにきていることに注意すること。答えは would を使った ② wouldn't です。

□4 エドワードは、もし彼が私の立場ならその仕事の申し出を引き受けないだろうと言っている。

□4 ⇒ ③ would not accept

▶ that 節内の文が仮定法を使った文になっています。これは現在の事実と反する仮定法過去の文なので、答えは would を使った ③ would not accept を選ぶこと。④ would not be accepted は、受動態になっているので不可です。

□5 もし私があなたの立場ならば、彼の裏切りを許さないでしょう。

□5 ⇒ ③ Were I

▶ 仮定法過去の表現の「If S were」は、if を使わずに「Were S」という構文でも表すことができます。ここでは、③ Were I がこの形にあてはまります。この文は、If I were in your place, にも書き換えることができます。

□6 あなたの忠告に従っていたら、私は成功したでしょう。

□6 ⇒ ③ would have succeeded

▶ 過去の事実と反する仮定を表す仮定法過去完了の文です。仮定法過去完了では would have Vpp の形を使うので、ここでは ③ would have succeeded を選ぶこと。

□ 7 If it had rained last night, the roads □ 7 now.

難

- ① would have been wet ② must have been wet
③ would be wet ④ are wet

[平安女子学院短大]

□ 8 □ 8 I know you were ill, I'd have called to see you.

- ① Have ② Had ③ If ④ As

[四天王寺国際仏教大短大部]

□ 9 Although he knows nothing about electronics, he speaks □ 9 an expert.

類

- ① like he being ② as if he were
③ even if he were ④ as though being

[センター試験]

□ 10 Were it not □ 10 your advice, he would be at a loss.

- ① without ② with ③ by ④ for

[共立女子短大]

□ 11 If □ 11 for his hard work, he wouldn't have passed the entrance exam.

- ① he were not ② it were not
③ it had not been ④ he had not been

[関西外国語大短大部]

□ 12 It's about time I □ 12 a vacation.

類

- ① have ② had
③ will have ④ am having

[南山短大]

□ 7 もし昨夜雨が降っていたら、今その道は濡れているだろう。

□ 7 ⇒ ③ would be wet

▶ if節の内容は、過去の事実と反する仮定ですが、後半つまり帰結節の内容は、現在の内容に反する仮定になっています。このように前半と後半で時制が違えば仮定法の文には、特に注意が必要です。空所には仮定法過去の形を入れればよいので、③ would be wet が正解。

□ 8 もし私が君が病氣だと知っていたなら、君に会うために電話したのに。

□ 8 ⇒ ② Had

▶ 仮定法過去完了の If S had Vpp の形は、If を省略して had を前に出した Had S Vpp という形でも表すことができます。この形にあてはめると、答えは ② Had。この文は、If I had known you were ill, にも書き換えることができます。

□ 9 彼は電子工学のことは何も知らないのに、まるで専門家のように話す。

□ 9 ⇒ ② as if he were

▶ 「まるで・・・であるかのごとく」という意味を表現するには、as if もしくは、as though という構文を使います。これらの構文の後ろには、仮定法を使った節がくるのが普通なので、ここでは as if の後ろに仮定法の節がきている ② as if he were が正解。

□ 10 あなたの助言がなかったら、彼は遂方に暮れているだろう。

□ 10 ⇒ ④ for

▶ 「現在～がないならば」という意味を表現するには、Were it not for ～もしくは If it were not for ～という構文を使います。これは But for ～や Without ～にも書き換えることができます。

□ 11 もし彼が一生懸命に勉強をしなかったら、彼はその入学試験に受かっていなかっただろう。

□ 11 ⇒ ③ it had not been

▶ 「過去に～がなかったならば」という意味を表現するには、If it had not been for ～、もしくは Had it not been for ～という構文を使います。これは But for ～や Without ～にも書き換えることができます。

□ 12 私は休暇をとってもよい頃だ。

□ 12 ⇒ ② had

▶ It is (about) time (that) の後ろには、仮定法を使った過去形の節がこなければなりません。答えは過去形を使った ② had。

- 13 If only I 13 the work last night!

難

- ① finished ② would finish
③ had finished ④ were finishing

〔東横学園女子短大〕

- 14 I'm glad I studied hard last night. Otherwise, I 14 the exam.

- ① failed ② have failed
③ will failed ④ would have failed

〔東京成徳短大〕

- 15 15 a little more luck, I could have finished reading the assignment much earlier.

- ① In ② At ③ With ④ On

〔南山大 (外)〕

- 16 16 your financial help, we wouldn't be able to carry out our plan.

- ① Except ② Instead of
③ Thanks to ④ Without

〔センター試験〕

- 17 If I 17 meet the president, I would punch him in the face.

- ① had had ② were to ③ should to ④ would have

- 18 A: How was last weekend, Nancy?

B: I had to do all the housework, but I wish I 18 to the movies

or shopping.

- ① went ② had gone
③ have gone ④ would go

〔英検準2級〕

- 13 私は昨夜その仕事を終えてさえいればなあ。

13 ⇒ ③ had finished

▶ If only は I wish と同じ意味です。後ろには仮定法を使った節が続きます。ここでは、last night (昨夜) という単語から過去の時制だとわかるので、過去完了形の ③ had finished が正解。

- 14 私は昨夜一生懸命に勉強してよかった。さもなければ、私はその試験に落ちていただろう。

14 ⇒ ④ would have failed

▶ otherwise は「さもなければ」という意味で、仮定法のif節の代わりをすることが出来ます。昨夜一生懸命勉強していなければ試験に落ちたということですから、過去のことに関する仮定。仮定法過去完了の ④ を選びましょう。

- 15 もう少し運がよかったら、私はもっと早く課題を読み終えることができたのに。

15 ⇒ ③ With

▶ 「～があるならば、～があったならば」という表現は、With ～ という形で表すことができます。この反対の「～がないならば、～がなかったならば」という表現は、Without ～ です。

- 16 あなたの財政援助がなければ、私たちは計画を実行することができないでしょう。

16 ⇒ ④ Without

▶ 「～がないならば、～がなかったならば」という表現は、Without ～ もしくは But for ～ という形で表すことができます。これらの表現は、仮定法のif節の代わりになることができます。

- 17 万が一私が大統領に会うようなことがあったら、顔を殴ってやるだろう。

17 ⇒ ② were to

▶ 未来に起こる可能性が全く「ほとんど」ないことを仮定する場合には、If S₁ were to V₁, S₂ would V₂. (万が一S₁がV₁するならば、S₂はV₂するだろう。) という構文を使います。同様の構文に、If S₁ should V₁, S₂ would[will] V₂があります。were to を使った場合、主節では would という助動詞しか使えないことに注意。

- 18 A: 先週末どうしてたの。ナンシー。 B: すべての家事をしなければならなかったんだけど、私は映画か買い物に行きたかったわ。

18 ⇒ ② had gone

▶ I wish の後ろには、仮定法を使った節がきます。wish と同じ時点のことからを表すときは過去形、それよりも前の時制ならば、過去完了形で表現します。ここでは wish よりも前のことからなので、過去完了形の ② had gone を選ぶこと。

□ 19 I proposed 19 with me.

- ① her to come ② her that she would come
③ that she come ④ for her to come [聖学院大 (政経)]

□ 20 I recommend 20 .

- ① for you to read this book
② to your reading this book
③ that you read this book
④ that you will read this book

[関西外国語大短大部]

■ 問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 The professor recommended that we all ① are on time ② for the examination so we ③ can have ④ time enough to finish.

誤り = 21

[長崎大]

□ 22 I ① would feel better about ② taking walks downtown if there ③ wouldn't be so ④ many empty buildings down there.

誤り = 22

[神奈川大 (経・外・工)]

□ 23 If it ① was not ② for your help, I ③ could not ④ succeed. I'd appreciate it!

誤り = 23

[立正大 (文)]

□ 19 私は、彼女に私と行くことを提案した。

19 ⇒ ③ that she come

▶ propose などのような、提案・要求・主張・命令を表す動詞の後ろの that 節は、「that 主語 should 原形動詞」、もしくは should を省略して「that 主語 原形動詞」という形がきます。原形動詞がくるという点に注意してください。ここでは、原形動詞を使った ③ that she come が正解。

□ 20 私はあなたにこの本を読むことを勧める。

20 ⇒ ③ that you read this book

▶ recommend などの、提案・要求・主張・命令を表す動詞の後ろの that 節は、「that 主語 should 原形動詞」または「that 主語 原形動詞」の形になります。ここでは、原形動詞を使った ③ that you read this book が正解です。

□ 21 教授は、十分終わられるだけの時間を持てるように、私たち全員が試験の時間どおりに来ているようにと忠告した。

21 ⇒ ① are → (should) be

▶ recommend などの、提案・要求・主張・命令を表す動詞の後ろの that 節は、「that 主語 should 原形動詞」または「that 主語 原形動詞」の形が使われます。ここでは、are を原形の be に訂正しなければなりません。

□ 22 もしそんなにたくさんさんの空きビルがなければ、都心部を散歩するのはもっと気分がよいだろう。

22 ⇒ ③ wouldn't be → were not

▶ 現在の事実に反する仮定ですから、仮定法過去の形を使います。if 節中なので、would ではなく動詞の過去形 (were) を使う必要があります。

□ 23 もしあなたの助けがなければ、私は成功できないでしょう。感謝します。

23 ⇒ ① was → were

▶ 「(現在) もし～がないならば」の意味を表す「If it were not for ～」という形では、were の代わりに was を使うことはできません。構文として覚えておきましょう。

■問3：日本文に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

□24 忙しなくては会議に出席できなかったのだが。

- If I 24 _____, 25 _____ the meeting.
 ① not been ② I ③ could have ④ had
 ⑤ busy ⑥ attended

〔四天王寺国際仏教大短大部〕

□25 もし君のご親切がなかったら，私は死んでいただかもしれない。

- If 26 _____, 27 _____, I might have died.
 ① been ② for ③ had ④ it
 ⑤ kindness ⑥ not ⑦ your

〔東北学院大（経・経）〕

□26 あの日に，あのと会うことができればよかったのに。（1語不要）

- I 28 _____ 29 _____ to see him at that time.
 ① had ② have ③ wish ④ able
 ⑤ I ⑥ been

〔田中千代学園短大〕

□27 ジョンのスーツは古くなっていたので，新しいのを買ってもよい頃だった。

- John's suit was old and it 30 _____ 31 _____
 ① he ② high ③ one ④ a
 ⑤ bought ⑥ new ⑦ was ⑧ time

〔中央大（理工・数・電・応化・管）〕

□28 彼は来週あたりに私たちを夕食へ招待したいと主張した。（1語句不要）

- He insisted that he 32 _____ 33 _____ week.
 ① have a chance
 ② would be going to become
 ③ sometime next
 ④ to invite us to dinner

〔白百合女子大（英文）〕

□24 If I had not been busy, I could have attended the meeting.

- 24 ⇒ ① 25 ⇒ ③ (4-1-5-2-3-6)
 ▶ この文は仮定法過去完了を使った，過去のことに対する仮定を表す典型的な構文です。「If S₁ had V_{1pp}, S₂ would [could] have V_{1pp}」という基本パターンに忠実に並べ換えましょう。

□25 If it had not been for your kindness, I might have died.

- 25 ⇒ ③ 27 ⇒ ② (4-3-6-1-2-7-5)
 ▶ If it had not been for ～ は「過去に～がなかったならば」という意味の重要構文で，Had it not been for ～ とも書き換えることができます。また，Without ～ や But for ～ にも書き換えることができます。

□26 I wish I had been able to see him at that time.

- 26 ⇒ ⑤ 28 ⇒ ⑥ (3-5-1-6-4) 不要=② have
 ▶ I wish や If only の後ろには，仮定法の節がきます。現在のことからを表すならば過去形を，過去のことからを表すならば過去完了形を使うこと。ここでは過去のことからなので，過去完了形が使われています。

□27 John's suit was old and it was high time he bought a new one.

- 27 ⇒ ② 31 ⇒ ⑤ (7-2-8-1-5-4-6-3)
 ▶ It is (high) time (that) の後ろには，「主語＋過去形」がきます。buy の活用のbought を使います。

□28 He insisted that he have a chance to invite us to dinner sometime next week.

- 28 ⇒ ① 33 ⇒ ③ (1-4-3) 不要=② would be going to become
 ▶ insist などの，提案・要求・主張・命令を表す動詞の後ろの that 節には，「that 主語 should 原形動詞」もしくは「that 主語 原形動詞」がきます。ここでは，have という原形動詞を使うこと。また，sometime next week で「来週のいつか」という意味になります。

その他

▶ ここでは、これまで扱った大きな文法項目には含まれていませんが、このレベル3で頻出のポイントを集めました。出題される可能性の高いポイントばかりですから、それそれをきちんと学習していきましょう。

1 another の用法

問 It is one thing to own a library; it is quite to use it wisely.

- ① another ② other ③ others ④ the other

[東北学院大 (経済) <改>]

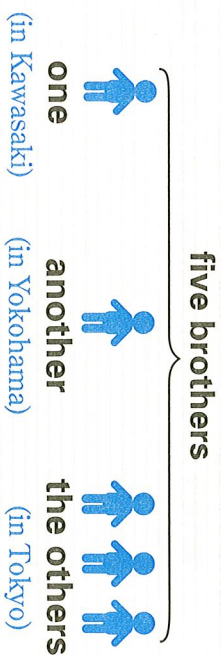
A is **one thing**, B is (quite) **another** という構文は「AとBは(全く)別である」という意味で、A is (quite) different from B とも書き換えることができます。

また、**another** はもともと **an** と **other** がくっついてできた言葉ですから、不特定の他のもの、つまり「他にもいろいろとあるんだけどもう1つの～」という意味をもつのに対して、**the other** は定冠詞の **the** に「特定の～」という意味があるので、「残った最後の～」のような意味が出てくるのです。

解答⇒1 (訳：書齋を持つことと、それを賢く使うことは全く違う。)

☐ I have five brothers; one lives in Kawasaki, another in Yokohama, and the others in Tokyo.

▶ 私には5人の兄弟がいる。1人は川崎に、もう1人は横浜に、残りは東京に住んでいる。



2 so + be動詞[助動詞] + S

問 She has been here before, and .

- ① so am I ② so have I ③ so did I ④ so I did

[日本大 (文理-人文)]

この問題を正確に解くために、「～もまた……である」とか「～もまた……でない」といった意味を表現するための構文をまず見てみましょう。

☐ 肯定文 **S V // S V, too** ▶ **Sもまたそうする**

= **so 助動詞[be動詞] S**

☐ 否定文 **S not V // S not V, either** ▶ **Sもまたそうしない**
 = **neither[nor] so 助動詞[be動詞] S**

このように **so** や **neither[nor]** を使って「～もまた……」ということができますが、肯定文と否定文では大きく違うことに注意。この問題では、前にきている文は肯定文ですから **so** を使って書きます。**so** の後ろの助動詞は、前の文は完了形では **has** が使われていますから、主語の I に合わせて **have** を使えばいいのです。

解答⇒2 (訳：彼女は以前ここに来たことがあるが、私もそうだ。)

3 疑問詞の how と what の違い

問 ☐ do you think of her long speech?

- ① How ② What ③ Which ④ Who

[和洋女大 (英文)]

日本語の「～をどう思いますか」という意味につられて **How** を選ばないように注意すること。英語では「**What** do you think of ～?」と言わなければなりません。一方、**like** という動詞を使う場合には、**How** do you like ～? (～はどうですか) というふうに **How** を使うので注意しましょう。

解答⇒2 (訳：彼女の長い演説についてどう思いますか。)

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

□1 He finished his sausage and asked for □1 .

- ① another ② other
③ other one ④ some other [大谷女子大 (文)]

□2 These shoes are too small for me. Show me some bigger □2 .

- ① other ② ones ③ another ④ one
[関西外国語大短大部]

□3  □3 my friends live in Chiba.

- ① Almost of ② Almost
③ Most of ④ Most [日本橋女学館短大]

□4 Let's go by taxi, □4 ?

- ① will you ② don't we
③ won't you ④ shall we [日本工業大 (機械・電気)]

□5 They'd decided to go there with her, □5 ?

- ① wouldn't they ② would her
③ hadn't they ④ didn't they [尾道短大]

□6 I hope to finish my work □6 five o'clock.

- ① by ② till ③ to ④ until
[梅花女子大 (文)]

□1 彼はソーセージを食べ終えて、もう1つ頼んだ。

□1⇒① another
▶「もう1つ」という意味を表す代名詞は another。残りが1つしかないときには、the other を使うことにも注意しましょう。

□2 これらの靴は私には小さすぎる。私により大きいものをいくつか見せてください。

□2⇒② ones
▶ここでは、shoes という複数形名詞の反復を避ける代名詞 ones を使います。

□3 私の友達のほとんどは千葉に住んでいる。

□3⇒③ Most of
▶ almost は副詞なので、代名詞や形容詞としては使えません。「ほとんど」という意味の most を使うときは、後ろに直接名詞がくる場合には most ～、後ろに the がくるときには most of the ～、後ろに my などの代名詞の所有格がくるときには most of 所有格 ～ という形になることに注意しましょう。

□4 タクシーで行きましょうよ。

□4⇒④ shall we
▶ let's V (～しましょう) という文を付加疑問文にするときは、文末に shall we? を置きます。Shall we go by taxi? と表現できます。

□5 彼らは彼女とそこへ行くことを決めていましたね。

□5⇒③ hadn't they
▶ 文頭の They'd は They had もしくは They would の短縮形。後ろの decided が過去分詞形なので、ここでは They had の短縮形だとわかります。よって、③ hadn't they という過去完了形の付加疑問文を選びましょう。

□6 私は5時までには仕事を終わらせたい。

□6⇒① by
▶ by も until(till) も、日本語にすると「まで」という同じ言葉になってしまいますが、by は「～までに (……してしまおう)」という完了の意味で、until(till) は「～まで (ずっと……している)」という継続の意味になります。

What do you think of ~? (~をどう思いますか) があります。

► sugar は不可算名詞ですから、不可算名詞の「量」をきく How much という表現を空所に入れること。④ What kind を使うには、kind の後ろに of が必要です。

▶ **What is ~ like?** は「～はどのようなものですか」という意味の重要表現。
この like は前置詞の like で「～のような」という意味になることにも注意しよ
う。この文は、How was the weather? と言い換えられます。

◆ ここでは述語動詞が *was* なので、主語になる代名詞は単数形になるはずですが *many* や *some* は複数扱い。 *every* は代名詞ではなく、後ろに *o* をとる形では使えません。ここでは 単数の代名詞として使える ② *Each* が正解。

◆「洋服(など)を身につけて」というときには、着用を表す in を使います。この文では、彼女と他の人を比べているわけではないので、most の前に the が付かない点にも注意しましょう。

▶「～させていて」という、動作を受けている最中を表すには、**under** という前置詞を使います。be **under construction** は「建設中」という意味の熟語として暗記しておきましょう。

□ 13 I have never seen □ 13 flower.

頻

- ① so a pretty ② so pretty a
③ a so pretty ④ a pretty so

〔金蘭短大〕

□ 14 I don't like the painter and I don't like his works, □ 14 .

- ① too ② neither ③ nor ④ either

〔金蘭短大〕

□ 15 My brother hasn't done his homework, □ 15 he will; he is quite lazy.

頻

- ① nor do I think ② nor I think
③ and also I don't think ④ and too, I don't think

〔四天王寺国際仏教大短大部〕

□ 16 This shirt is too big and the other is too small. □ 16 fits me.

- ① Both ② Either ③ Neither ④ It

〔四天王寺国際仏教大短大部〕

□ 17 He is always complaining that he can't get along on his □ 17 salary.

- ① inexpensive ② cheap
③ low-priced ④ small

〔梅花短大〕

□ 18 There is a □ 18 population in Tokyo.

- ① large ② many ③ great ④ lot

〔田中千代学園短大〕

□ 13 私はこんな美しい花を見たことがない。

□ 13 ⇒ ② so pretty a

▶ so, too, as, how という副詞の後ろは、「形容詞 a 名詞」という変わった語順になることに注意しましょう。ここでは, such a pretty flower と書き換えることもできます。

□ 14 私はその画家が好きではないし、また彼の作品も好きではない。

□ 14 ⇒ ④ either

▶ 否定文の後ろに「～もまた」という意味を加えるには, either を使います。too は肯定文の後ろのみに使われるということに注意しましょう。

□ 15 私の弟は宿題をしていないし、またするつもりがあるとも思わない。彼は本当に怠け者だから。

□ 15 ⇒ ① nor do I think

▶ nor 助動詞 [be動詞] S は、「S もまた ない」という意味の否定の構文。

□ 16 このシャツは大きすぎるし、もう1つは小さすぎる。両方とも私には合わない。

□ 16 ⇒ ③ Neither

▶ 2つのものを指して、「どちらも でない」と否定するときには, neither を使います。ちなみに, either は「どちらか片方」、both は「両方とも」という意味です。

□ 17 彼は彼の低い給料ではやっていけないという不平を言っている。

□ 17 ⇒ ④ small

▶ 給料 (salary) が多い、少ないというときには, large や small を使うことに注意しましょう。なお, high や low も使えます。expensive や cheap は使えません。

□ 18 東京の人口は多い。

□ 18 ⇒ ① large

▶ 人口 (population) が多い、少ないというときには, large, small を使うことに注意しましょう。many, much, a lot of などは使えません。

□ 19 Change the oil in the car □ 19 5000 miles.

- ① each ② every ③ all ④ by

[東横学園女子短大]

□ 20 You have to pay the □ 20 when you get on the bus.

- ① fare ② cost ③ journey ④ bill

[神奈川県立外語短大]

■ 問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 ① It's been so long ② since that happened, ③ I can't hardly

remember ④ anything about it.

誤り = □ 21

[学習院女子短大]

□ 22 ① Language has made it possible ② to pass along ③ informations, to

remember ④ things that happened, and to keep a record of those things and ⑤ learn from them.

誤り = □ 22

[学習院女子短大]

□ 23 ① Having attended an American college ② since four years, Hanako

is ③ quite good ④ at speaking English.

誤り = □ 23

[甲南女子大短大部]

□ 19 5000 ヶイルごとに車のオイル交換を下さい。

□ 19 ⇒ ② every

▶ 「～おき、～ごと」という意味を表現するときには every ～を使います。

□ 20 あなたはバスに乗るときに、乗車料金を払わなければならない。

□ 20 ⇒ ① fare

▶ 「運賃」は、fare という単語を使って表します。cost は「費用」、bill は「請求書」という意味。また、医者、弁護士などの専門的なサービス料金を表すときには fee、電気代やホテル代などのような一般的サービス料金を表すには charge を使うことも覚えておきましょう。

□ 21 あのこと起きてからずいぶん長く経ったので、私はそれについてほとんど何も思い出すことができない。

□ 21 ⇒ ③ can't → can

▶ hardly は、「ほとんど・・・ない」という意味の否定語。③の can't hardly という部分では、否定語がダブって使われているので、can't を can に訂正すれば正しい英文になります。

□ 22 言語は情報を伝え、起こったことを記憶し、これらの事柄を記録にとどめてそれらから学ぶことを可能にできた。

□ 22 ⇒ ③ informations → information

▶ information は不可算名詞。不可算名詞に複数形の s や冠詞の a を付けることはできないので、ここでは informations を information に訂正しましょう。なお、advice (忠告) や furniture (家具) などでも不可算名詞なので要注意です。

□ 23 4年間アメリカの大学に通ったので、ハナコは英語を話すのがとても上手だ。

□ 23 ⇒ ② since → for

▶ since は主に完了形の後ろで使われて「～以来」という意味を表す前置詞。ここでは、不特定の期間を表す for (～の間) に書き換えなければ意味が通りません。

■問3：日本文に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

□24 彼女が時間どおりに来るかどうかわかりません。

- I can't _____ [24] _____ [25] _____ .
 ① she ② come ③ will ④ tell
 ⑤ on ⑥ whether ⑦ time

〔札幌大女子短大部〕

□25 3分歩いて公園に着いた。

- _____ [26] _____ [27] _____ .
 ① walk ② us ③ three ④ to
 ⑤ minutes' ⑥ brought ⑦ the ⑧ park

〔東京国際大（商）＜改＞〕

□26 もうじき我々の食糧は尽きてしまうでしょう。（1語不要）

- It will _____ [28] _____ [29] _____ runs out.
 ① be ② before ③ long ④ not
 ⑤ short ⑥ our food

〔学習院大（法）〕

□27 さらなる2日間の延期のあとに，試験の結果が発表された。

- _____ [30] _____ , _____ [31] _____ the exams
 were published.
 ① after ② delay ③ two ④ another
 ⑤ days' ⑥ the ⑦ of ⑧ results

〔駒澤女子短大〕

□28 あなたは空港に行かなければならないが，どうやってそこに行くのかわからないとする。あなたは誰かを止めて言う。「空港への行き方を教えていただけますか。」

You have to go to the airport but you don't know how to get there.
 You stop someone and say: "Could you please _____ [32] _____
 _____ [33] _____ ?"

- ① me ② tell ③ the ④ the airport
 ⑤ to ⑥ way

〔センター試験（追）〕

□24 I can't tell **whether** she **will** come on time.

[24] ⇒ ⑥ [25] ⇒ ③ (4-6-1-3-2-5-7)
 ▶ **whether** S V (or not) は「S が V するかどうか」という意味の名詞節を作ります。よって，tell の目的語として使うことができます。**whether** S V (or not) が副詞節で使われたときには「S が V しようとしまい」という意味になることにも注意しましょう。

□25 **Three minutes'** walk brought us to the park.

[26] ⇒ ⑤ [27] ⇒ ⑥ (3-5-1-6-2-4-7-8)
 ▶ bring (連れてくる) という動詞の使い方がポイント。この文を直訳すると「3分間の歩行が私たちを公園に連れてきた」という不自然な日本語になってしまいます。このような文は，主語の部分を副詞的に訳すと自然な日本語になります。このような構文を，無生物主語構文と呼びます。

□26 It will not be long before our food runs out.

[28] ⇒ ① [29] ⇒ ② (4-1-3-2-6) 不要=⑤ short
 ▶ It will not be long before S V は「まもなく S は V するだろう」という重要構文。before 以下は副詞節なので，現在形を使うことに注意すること。また，It was not long before S Vp は「まもなく S は V した」という意味の過去のパターンです。

□27 After another two days' delay, the results of the exams were published.

[30] ⇒ ④ [31] ⇒ ③ (1-4-3-5-2-6-8-7)
 ▶ two days はひと続きの期間を表す表現なので，ここでは単数名詞のように扱い，前に another を付けることに特に注意しましょう。

□28 You have to go to the airport but you don't know how to get there. You stop someone and say: "Could you please tell me the way to the airport?"

[32] ⇒ ① [33] ⇒ ⑥ (2-1-3-6-5-4)
 ▶ 「人に道を教える」という表現は，「tell/show」人 the way」という表現を使います。「教える」という日本語につられて「teach 人 the way」とはしないように注意しましょう。

STAGE-3

(第7～10章)

中間テスト

★このステージで覚えた知識を総チェック★

目標時間
20分

目標得点
17点

■第1問 次の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

問1 It was John [1] broke the window.

- ① he ② whom ③ who ④ what

問2 A: Samantha, this pen is for you.

B: Thanks, it's just [2] I wanted!

- ① which ② that ③ how ④ what

問3 The town is now different from [3] it was ten years ago.

- ① what ② as ③ that ④ which

問4 Recently I went back to the town [4] I was born.

- ① that ② where ③ place ④ which

問5 Of the two apartments, the second one was [5].

- ① more larger ② the largest

- ③ largest ④ the larger

問6 The baby can't even walk, much [6] run.

- ① more ② rather ③ less ④ never

問7 The population of England is about [7] that of Japan.

- ① half as large as ② half less than

- ③ as half as ④ half larger than

問8 If it [8] for your suggestion, the situation would have been more chaotic.

- ① had not been ② should not be

- ③ would not be ④ were not to be

問9 He recommended that the student [9] his composition as soon as possible.

- ① finishes writing ② will finish writing

- ③ finish writing ④ finished writing

問10 If she [10] harder then, she would be a good student now.

- ① had worked ② should work

- ③ worked ④ would have worked

問11 If Mary [11] how to swim, she would go to the beach more often.

- ① knows ② knew

- ③ will know ④ had known

問12 I'm going to sell this car and get [12] one.

- ① another ② new

- ③ different ④ some

問13 None of them can remember the names [13].

- ① also ② too ③ neither ④ either

問14 Our school's gym is [14] construction now. It will be completed before next spring.

- ① over ② under ③ above ④ below

- ⑤ The number of people who travel abroad is quite [15].

問15

- ① many ② much ③ large ④ lot

■第2問 次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

問16 16

Nagano is a city ①where is ②famous for its castle ③built in ④the 17th century.

問17 17

The bag was ①small ②but so ③heavy that I ④could not hardly walk.

■第3問 次の選択肢を並べかえて英文を完成させ、空欄に入る番号を答えよ。

問18 It is often said

18

① time ② is ③ than ④ precious
⑤ nothing ⑥ more ⑦ that

問19

19

in life.

① succeeded ② have ③ everybody's ④ support
⑤ without ⑥ I wouldn't

問20

20

. (1語不要)

It will not be _____ .
① can ② as soon as ③ we ④ to the universe
⑤ long before ⑥ travel

▶解答欄の丸数字を鉛筆でマークしなさい。

解 答 用 紙 (マークシート)										
問題 番号	設問	解答 番号	解 答 欄							
第1問	問1	1								
	問2	2								
	問3	3								
	問4	4								
	問5	5								
	問6	6								
	問7	7								
	問8	8								
	問9	9								
	問10	10								
第2問	問11	11								
	問12	12								
	問13	13								
	問14	14								
	問15	15								
第3問	問16	16								
	問17	17								
	問18	18								
	問19	19								
	問20	20								

口語表現 レベル3

特別付録



CHECKLIST

<input type="checkbox"/> 1	How far is it from here to your school?	こちらからあなたの学校までどのくらいですか?
<input type="checkbox"/> 2	How long does it take from here to station?	ここから駅までどのくらいかかりますか?
<input type="checkbox"/> 3	I'll go there with you.	私もあなたと一緒にそこに行くよ。
<input type="checkbox"/> 4	When will he go back to Japan?	いつ彼は日本に帰るの?
<input type="checkbox"/> 5	What time does the TV program start?	そのテレビ番組は何時に始まるの?
<input type="checkbox"/> 6	That'll be fine.	それで結構です。
<input type="checkbox"/> 7	Wait a minute.	ちょっと待って。
<input type="checkbox"/> 8	Why do you ask?	どうして聞くの?
<input type="checkbox"/> 9	Thanks a lot.	どうもありがとう。
<input type="checkbox"/> 10	My pleasure.	どういたしまして。
<input type="checkbox"/> 11	I'm hungry.	私はお腹がすいた。
<input type="checkbox"/> 12	She's out now.	彼女は今外出中です。
<input type="checkbox"/> 13	Thank you anyway.	とにかくありがとう。
	= Thank you all the same.	
<input type="checkbox"/> 14	That's too bad.	そりや残念だ。
<input type="checkbox"/> 15	Will you be free tomorrow?	明日暇ですか?
<input type="checkbox"/> 16	What do you mean by that?	それはどういう意味ですか?
<input type="checkbox"/> 17	Have you finished your homework yet?	もう宿題が終わったの?
<input type="checkbox"/> 18	Merry Christmas, Ted.	テッド、クリスマスおめでとう。
	— Same to you!	君もね!
<input type="checkbox"/> 19	Is this your car or his?	これは君の車、それとも彼の?
<input type="checkbox"/> 20	I'm sorry I'm late.	遅れてすみません。
<input type="checkbox"/> 21	I have a date today.	今日デートがあるんだ。
<input type="checkbox"/> 22	Do I have to study hard?	一生懸命勉強しなくてはいけませんか?
<input type="checkbox"/> 23	How do you feel today?	今日の気分はどうですか?
<input type="checkbox"/> 24	How about eating lunch at the restaurant?	レストランで食事なんてどうですか?
<input type="checkbox"/> 25	Will you join us?	一緒にやりませんか?
<input type="checkbox"/> 26	Will you lend me your pencil?	鉛筆を貸してくれない?
<input type="checkbox"/> 27	Don't you think so?	あなたもそう思わない?
<input type="checkbox"/> 28	Hurry up, or you will be late for school.	急がないと学校に遅れるよ。
<input type="checkbox"/> 29	Kelly has to go to bed early.	ケリーは早く寝なくてはならない。
<input type="checkbox"/> 30	Would you show me another dress?	違うドレスを見せてもらえますか?
<input type="checkbox"/> 31	It's up to you.	あなた次第よ。

<input type="checkbox"/> 32	You had better go to school.	君は学校に行くべきだよ。
<input type="checkbox"/> 33	May I have another cup of tea?	お茶をもう1杯もらえますか?
<input type="checkbox"/> 34	You look pale.	君、顔が青白いよ。
<input type="checkbox"/> 35	Never mind.	何でもないよ。気にしないで。
<input type="checkbox"/> 36	Thank you for your kindness.	ご親切にどうもありがとう。
<input type="checkbox"/> 37	Which way is the north exit?	北口はどの方向ですか?
<input type="checkbox"/> 38	Please show me the way to the store.	お店に行く道を教えてください。
<input type="checkbox"/> 39	I don't know what that is.	あれが何なのか私にはわかりません。
<input type="checkbox"/> 40	What time is it now in Australia?	オーストラリアでは今何時ですか?
<input type="checkbox"/> 41	Have you got the time?	今何時ですか?
<input type="checkbox"/> 42	How cute!	なんてかわいいんだろう!
<input type="checkbox"/> 43	Congratulations!	おめでとう!
<input type="checkbox"/> 44	Well, let me see.	うーん、そうだなー。
<input type="checkbox"/> 45	Mary overslept today.	メアリーは今日寝坊した。
<input type="checkbox"/> 46	Oh, my god!	大変だ!
<input type="checkbox"/> 47	Tom is in trouble.	トムは困っている。
<input type="checkbox"/> 48	What's up?	どうしたの? / やあ!
<input type="checkbox"/> 49	Watch out!	気を付けて!
<input type="checkbox"/> 50	I'll call him again later.	またあとで彼に電話します。
<input type="checkbox"/> 51	Just a moment, please.	少々お待ちください。
<input type="checkbox"/> 52	Please teach me how to play the piano.	ピアノの弾き方を教えてください。
<input type="checkbox"/> 53	What's the matter with your bike?	君のバイクはどうしたんだい?
<input type="checkbox"/> 54	You're right.	君の言うとおりだ。
<input type="checkbox"/> 55	I caught a cold.	私は風邪をひいた。
<input type="checkbox"/> 56	I guess you have the wrong number.	電話番号が間違っていますよ。
<input type="checkbox"/> 57	Will you do me a favor?	ちょっと頼みがあるんだけど。
<input type="checkbox"/> 58	That sounds good.	そりゃよさそうだ。
<input type="checkbox"/> 59	Have a nice weekend.	よい週末を。
<input type="checkbox"/> 60	Would you open the window please?	窓を開けてもらえますか?
	— With pleasure.	喜んで。
<input type="checkbox"/> 61	May I speak to Kenji?	(電話で) ケンジに代わってもらえますか?
<input type="checkbox"/> 62	Sorry, I'm a stranger here.	すみません、このへんよく知らないんです。
<input type="checkbox"/> 63	I'm starving.	お腹がすいて死にそうだよ。
<input type="checkbox"/> 64	I can't stand it!	もう、我慢できない!
<input type="checkbox"/> 65	Leave me alone!	ほっといてくれ!

単語・熟語リスト

特別付録



CHECKLIST

第1章：動詞・時制

P10

- meeting (名) 会議, 会合
- discuss (動) 話し合う
- lie (動) 横たわる
- lay (動) 横たえる
- in detail (名) 詳細に

P12

- by the time S V (構) SがVするまでに
- finally (動) ついに, どうとう
- as soon as S V (構) SがVするとすぐに

P14

- situation (名) 情勢, 位置, 立場
- seat (動) 座らせる
- nicely (動) きちんと, うまく
- probably (動) たぶん
- piece (名) 一片, 破片

P16

- suggest (動) 提案する
- advise ~ to V (動) ~にVするよう忠告する, 助言する

- eldest (形) old の最上級
- homework (名) 宿題
- help A with B (構) AのBを助ける
- as long as S V (構) SがVする限り
- wounded (形) 負傷した
- ambulance (名) 救急車
- arrive (動) 到着する
- at home (名) 家で, 母国で, くつろいで

P18

- design (名) 形, デザイン
- fit (動) (物の大きさか人に)合う
- match (動) (物か物に)似合う
- suit (動) (物か人に)似合う
- spend 時間 (in) Ving (構) Vして時間を過ごす
- at least (名) 少なくとも
- neither (代) どちらも …… でない
- opposite (形) 反対側の
- platform (名) プラットホーム
- promise (動) 約束する
- grandfather (名) 祖父
- collection (名) 収集
- rare (形) 珍しい, まれな
- publish (動) 出版する, 発行する

P20

- valuable (形) 価値のある, 高価な
- expense (名) 費用
- save A B (構) AのBを省く
- thank A for B (構) BのことをAに感謝する
- pass A B = pass B to A (構) BをAに渡す
- silently (動) 静かに
- laugh (動) 笑う
- realize that S V (構) SがVするのかわかる
- keep O C (構) OをCの状態に保つ

第2章：受動態

P22

- patient (名) 患者
- medicine (名) 薬
- bring about ~ (動) ~を引き起こす
- complete (形) 完全な
- recovery (名) 回復
- on one's way home (名) ~の帰り道で
- stranger (名) 見知らぬ人
- at the moment (名) ちょうど今

P24

- control (動) 支配する
- be said to V (構) Vすると言われている
- allow ~ to V (構) ~がVするのを許す
- printing (名) 印刷(術)
- invent (動) 発明する

P26

- fashionable (形) 流行の
- subway (名) 地下鉄
- complete (動) 完了する, 完成する
- if S V (構) SがVするならば
- sunglasses (名) サングラス
- circulate (動) 循環する
- discover (動) 発見する
- according to ~ (名) ~によると
- the United Nations (名) 国連
- agreement (名) 協定
- uphold (動) 支持する
- look at ~ (名) ~を見る

P28

- that's why S V (構) そういうわけでSはVする
- look up to ~ (名) ~を尊敬する
- colleague (名) 同僚
- behavior (名) 振る舞い, 行動

- angry (形) 怒って
- embarrass (動) まごつかせる
- nervous (形) 神経質な
- impatient (形) 我慢できない
- motorbike (名) バイク
- for the time being (名) 当分の間
- for a long time (名) 長い間
- cut ~ down (動) ~を切り倒す

P30

- sweep (動) 掃く
- generation (名) 世代
- significant (形) 重要な
- unaffected (形) 動かされない, 動かない
- take care of ~ (名) ~の世話をする
- disturb (動) 邪魔する

P32

- it seems that S V (構) SがVするように思える
- earthquake (名) 地震
- be pleased with ~ (名) ~に満足している
- rumor (名) うわさ
- feel O to be C (名) OがCであると感じる
- all over the world (名) 世界中
- male (形) 男性の
- customer (名) 客
- require ~ to V (動) ~がVするのを要求する
- when S V (構) SがVするとき
- restaurant (名) レストラン

第3章：不定詞

P34

- thirsty (形) のどの渇いた
- before dark (名) 暗くなる前に
- slave (名) 奴隷
- government (名) 政府
- public opinion (名) 世論
- be about to V (名) 今にもVしようとしている
- be on the point of Ving (名) ~の直前
- be glad to V (名) 喜んで
- whenever S V (構) SがVするときはいつでも
- determine to V (動) Vすると決心する
- decide to V (名) 決定
- make up one's mind to V (名) 決心する
- accept (動) 受け入れる
- offer (名) 申し出
- hesitate to V (動) Vするのをためらう

P36

- be about to V (名) 今にもVしようとしている
- be on the point of Ving (名) ~の直前
- be glad to V (名) 喜んで
- whenever S V (構) SがVするときはいつでも
- determine to V (動) Vすると決心する
- decide to V (名) 決定
- make up one's mind to V (名) 決心する
- accept (動) 受け入れる
- offer (名) 申し出
- hesitate to V (動) Vするのをためらう

- remember to V (動) 忘れずにVする
- remember Ving (動) Vしたのを覚えている
- goldfish (名) 金魚

P38

- tell ~ to V (動) ~にVするように言う
- health (名) 健康
- cause ~ to V (動) ~にVさせる
- would like ~ to V (名) ~にVしてほしい
- want ~ to V (名) ~にVしたい

P40

- happen (動) 起こる
- foolish (形) 愚かな
- storm (名) 嵐
- turn out (動) (電気を)消す
- survive (動) 生き残る
- operation (名) 手術
- pneumonia (名) 肺炎
- only to V (名) …… として結局Vする
- never to V (名) …… 決してVしない
- luggage (名) 手荷物
- have ~ V (動) ~にVさせる, ~にVしてもらう
- make ~ V (動) ~にVさせる
- let ~ V (動) ~にVさせてやる
- article (名) 記事
- shrine (名) 神社
- it is ... (for ~) to V (構) (~が) Vするのは…だ
- translator (名) 翻訳家
- impossible (形) 不可能な
- find O C (動) OがCだとわかる
- university (名) 大学

P42

- so as to V (名) Vするために
- in order to V (名) Vするために
- have no choice but to V (名) Vせざるをえない
- have no alternative but to V (名) Vするしかない
- modern (形) 現代的な, 近代の
- technology (名) 科学技術
- enable ~ to V (動) ~がVするのを可能にする
- dial (名) ダイアル
- go abroad (名) 海外に行く
- afford to V (動) Vする余裕がある

P44

- don't fail to V (名) 必ずVしてください
- betray (動) 裏切る
- so ... as to V (名) …… ほどに…
- enough to V (名) …… ほどに…

<input type="checkbox"/> German	(名) ドイツ語
<input type="checkbox"/> to say nothing of ~	(熟) ~は言うまでもなく
<input type="checkbox"/> needless to say	(熟) 言うまでもなく
<input type="checkbox"/> appointment	(名) 約束
<input type="checkbox"/> make it a rule to V	(熟) いつもVすることになっている
<input type="checkbox"/> = make it a habit to V	

中間テスト (STAGE-1: 第1~3章)

P46	
<input type="checkbox"/> final	(形) 最後の
<input type="checkbox"/> exam	(名) 試験、テスト
<input type="checkbox"/> plenty of ~	(熟) たくさん、～
<input type="checkbox"/> coast	(名) 海岸
<input type="checkbox"/> exercise	(名) 運動
<input type="checkbox"/> as ... as ~ can	(熟) できるだけ…
<input type="checkbox"/> miss a train	(熟) 電車に乗り遅れる
<input type="checkbox"/> correct	(動) 訂正する
<input type="checkbox"/> presentation	(名) 発表
<input type="checkbox"/> purple	(形) 紫色の
<input type="checkbox"/> write down	(熟) 書き取る
<input type="checkbox"/> forget	(動) 忘れる
<input type="checkbox"/> fall	(名) 下落、降下
<input type="checkbox"/> value	(名) 価値
<input type="checkbox"/> export	(動) 輸出する
<input type="checkbox"/> suppose	(動) 想定する

P48	
<input type="checkbox"/> make a mistake	(熟) 間違える
<input type="checkbox"/> broken-hearted	(形) 悲嘆にくれた
<input type="checkbox"/> set out	(熟) 出発する
<input type="checkbox"/> journey	(名) 旅

第4章: 動名詞

P54	
<input type="checkbox"/> get used to Ving	(熟) Vするのになれる
<input type="checkbox"/> turn off	(熟) (明り、テレビ、ラジオを) 消す

P56	
<input type="checkbox"/> enjoy Ving	(動) Vするのを楽しむ
<input type="checkbox"/> classical	(形) クラシックの、古典的な
<input type="checkbox"/> severe	(形) 深刻な、厳しい
<input type="checkbox"/> shortage	(名) 不足
<input type="checkbox"/> give up Ving	(動) Vするのをやめる、やめる
<input type="checkbox"/> occasionally	(副) 時々
<input type="checkbox"/> economize	(動) 節約する
<input type="checkbox"/> avoid Ving	(動) Vするのを避ける
<input type="checkbox"/> travel	(動) 旅行する
<input type="checkbox"/> narrowly	(副) やっと、かううじて
<input type="checkbox"/> escape Ving	(動) Vすることから逃れる
<input type="checkbox"/> run over ~	(熟) (車が) ~をひく
<input type="checkbox"/> stop Ving	(動) Vするのをやめる

<input type="checkbox"/> stop to V	(動) 止まってVする
<input type="checkbox"/> Would you mind Ving?	(構) Vしていただませんか
<input type="checkbox"/> upstairs	(副) 階上へ

P58	
<input type="checkbox"/> admit Ving	(動) Vすることを認める
<input type="checkbox"/> regret Ving	(動) Vしたことを後悔する
<input type="checkbox"/> regret to V	(動) 残念ながらVする
<input type="checkbox"/> try to V	(動) Vしようとする
<input type="checkbox"/> try Ving	(動) Vしてみる
<input type="checkbox"/> skate	(動) スケートをする
<input type="checkbox"/> be afraid of ~	(熟) ~を恐れる
<input type="checkbox"/> part-time	(副) パートタイムで
<input type="checkbox"/> husband	(名) 夫
<input type="checkbox"/> when it comes to Ving	(熟) Vすることになれば

P60	
<input type="checkbox"/> Spain	(名) スペイン
<input type="checkbox"/> be used to Ving	(熟) Vするのになれている
<input type="checkbox"/> used to V	(熟) かつてVしたものだ
<input type="checkbox"/> be used to V	(熟) Vするために使われる
<input type="checkbox"/> look forward to Ving	(熟) Vするのを楽しみに待つ
<input type="checkbox"/> feel like Ving	(熟) Vしたい気がする
<input type="checkbox"/> be worth Ving	(熟) Vする価値がある
<input type="checkbox"/> participant	(名) 参加者
<input type="checkbox"/> make an effort	(熟) 努力する
<input type="checkbox"/> cannot help Ving	(熟) Vせざるをえない
<input type="checkbox"/> = cannot but V	
<input type="checkbox"/> = cannot help but V	
<input type="checkbox"/> admire	(動) 賞賛する
<input type="checkbox"/> the Olympics	(名) オリンピック
<input type="checkbox"/> have trouble (in) Ving	(熟) Vするのに苦労する
<input type="checkbox"/> = have difficulty (in) Ving	

P62	
<input type="checkbox"/> be busy (in) Ving	(熟) Vするのに忙しい
<input type="checkbox"/> prepare for ~	(熟) ~に備えて準備する
<input type="checkbox"/> there is no Ving	(熟) Vすることはできない
<input type="checkbox"/> ever since ~	(熟) (～以来) すっと
<input type="checkbox"/> come back	(熟) 戻る、帰る
<input type="checkbox"/> project	(名) 計画、企画
P64	
<input type="checkbox"/> impress	(動) 印象づける、感動させる
<input type="checkbox"/> beauty	(名) 美、美しさ
<input type="checkbox"/> never V, without Ving	(熟) Vすれば必ずVする
<input type="checkbox"/> keep from Ving	(熟) Vするのを控える
<input type="checkbox"/> prevent ~ (from) Ving	(熟) ~がVすることを妨げる
<input type="checkbox"/> marry	(動) 結婚する
<input type="checkbox"/> salary	(名) 給料
<input type="checkbox"/> low	(形) 低い

<input type="checkbox"/> it is no use Ving	(構) Vしても無駄だ
<input type="checkbox"/> argue	(動) 議論する

第5章: 分詞

P66	
<input type="checkbox"/> arm	(名) 腕
<input type="checkbox"/> have ~ Vpp	(構) ~をVされる【てもらう】

P68	
<input type="checkbox"/> bishop	(名) 司教
<input type="checkbox"/> diplomat	(名) 外交官
<input type="checkbox"/> shake hands with ~	(熟) ~と握手する
<input type="checkbox"/> moon	(名) 月
<input type="checkbox"/> mountain	(名) 山
<input type="checkbox"/> shine	(動) 輝く
<input type="checkbox"/> catch ~ Ving	(熟) ~がVしているのを見つめる
<input type="checkbox"/> conversation	(名) 会話

P70	
<input type="checkbox"/> dress	(動) 服を着せる
<input type="checkbox"/> mention	(動) 言及する、言う
<input type="checkbox"/> notice	(動) 気づく
<input type="checkbox"/> air conditioner	(名) エアコン
<input type="checkbox"/> noise	(名) 音、騒音
<input type="checkbox"/> accident	(名) 事故
<input type="checkbox"/> injure	(動) 傷つける
<input type="checkbox"/> invite	(動) 招待する
<input type="checkbox"/> museum	(名) 美術館
<input type="checkbox"/> questionable	(形) 疑わしい
<input type="checkbox"/> acquire	(動) 獲得する

P72	
<input type="checkbox"/> excite	(動) 興奮させる
<input type="checkbox"/> look C	(動) Cに見える
<input type="checkbox"/> son	(名) 息子
<input type="checkbox"/> absence	(名) 不在、欠席
<input type="checkbox"/> all ~ have to do is (to) V	(熟) ~はVしさえすればよい
<input type="checkbox"/> get dressed	(熟) 着飾る
<input type="checkbox"/> in order to V	(動) Vするために
<input type="checkbox"/> keep C	(熟) Cのままでいる
<input type="checkbox"/> as ... as possible	(熟) できるだけ…
<input type="checkbox"/> get O C	(動) OをCにする
<input type="checkbox"/> waiting room	(名) 待合室
<input type="checkbox"/> quickly	(副) 早く、急いで

P74	
<input type="checkbox"/> engine	(名) エンジン
<input type="checkbox"/> unconscious	(形) 意識を失った
<input type="checkbox"/> soothe	(動) なだめる
<input type="checkbox"/> disappoint	(動) 失望させる、がっかりさせる
<input type="checkbox"/> physically	(副) 物理学的に、身体的に
<input type="checkbox"/> handicapped	(形) (身体、精神的に) 障害のある

<input type="checkbox"/> decay	(動) 虫歯になる、腐る
<input type="checkbox"/> dental	(形) 歯の
<input type="checkbox"/> surgeon	(名) 外科医
<input type="checkbox"/> pull	(動) 抜く、引く

P76	
<input type="checkbox"/> tool	(名) 道具
<input type="checkbox"/> leave O C	(動) OをCのままにしておく
<input type="checkbox"/> steal	(動) 盗む
<input type="checkbox"/> participate in ~	(動) ~に参加する
<input type="checkbox"/> be free to V	(熟) 自由にVする
<input type="checkbox"/> interview	(名) 面接、インタビュー

P78	
<input type="checkbox"/> situation	(名) 状況
<input type="checkbox"/> from a distance	(熟) 離れて、遠くから
<input type="checkbox"/> look like ~	(熟) ~のように見える
<input type="checkbox"/> unusually	(副) 非常に、珍しく

第6章: 分詞構文

P80	
<input type="checkbox"/> worker	(名) 労働者
<input type="checkbox"/> save	(動) 救う、省く、貯める
<input type="checkbox"/> drown	(動) 溺れる
<input type="checkbox"/> convenient	(形) 便利な
<input type="checkbox"/> locate	(動) (建物を) 置く
<input type="checkbox"/> tent	(名) テント
<input type="checkbox"/> on business	(熟) 仕事で

P82	
<input type="checkbox"/> all day long	(熟) 1日中
<input type="checkbox"/> paperback	(名) 紙表紙本、文庫本
<input type="checkbox"/> college	(名) 大学
<input type="checkbox"/> utter	(動) (声などを) 口から出す
<input type="checkbox"/> cactus	(名) サボテン
<input type="checkbox"/> fireman	(名) 消防士
<input type="checkbox"/> urge	(動) しきりに促す
<input type="checkbox"/> crowd	(名) 群衆
<input type="checkbox"/> accordingly	(副) したがって

P84	
<input type="checkbox"/> all things considered	(熟) すべてのことを考慮に入れば
<input type="checkbox"/> strictly speaking	(熟) 厳密に言えば
<input type="checkbox"/> considering ~	(熟) ~を考慮に入れば
<input type="checkbox"/> pretty	(副) 非常に
<input type="checkbox"/> speaking of ~	(熟) ~と言えば
<input type="checkbox"/> = talking of ~	
<input type="checkbox"/> explanation	(名) 説明
<input type="checkbox"/> other things being equal	(熟) 他のもか同じであれば

P86	
<input type="checkbox"/> there being ~	(熟) ~があるので
<input type="checkbox"/> service	(名) (交通などの) 便、給仕

<input type="checkbox"/> wedding	(名) 結婚式
<input type="checkbox"/> reception	(名) 歓迎会, 入会
<input type="checkbox"/> glove	(名) 手袋
<input type="checkbox"/> theater	(名) 劇場
<input type="checkbox"/> suitable	(形) 適当な, 適した

P88

<input type="checkbox"/> breakfast	(名) 朝食
<input type="checkbox"/> in haste	(熟) 急いで
<input type="checkbox"/> dine out	(熟) 外食する
<input type="checkbox"/> hobby	(名) 趣味
<input type="checkbox"/> gardening	(名) 園芸
<input type="checkbox"/> plant	(名) 植物

■ 中間テスト (STAGE-2: 第4～6章)

P90

<input type="checkbox"/> favorite	(形) お気に入り
<input type="checkbox"/> skiing	(名) スキー
<input type="checkbox"/> be responsible for ~	(熟) ~の責任がある
<input type="checkbox"/> look after ~	(形) ~の世話をする
<input type="checkbox"/> long-sleeved	(形) 長袖
<input type="checkbox"/> novel	(名) 小説
<input type="checkbox"/> next to ~	(熟) ~の隣に
<input type="checkbox"/> shopping mall	(名) ショッピングセンター
<input type="checkbox"/> for a moment	(熟) ちよつとの間
<input type="checkbox"/> yard	(名) 庭
<input type="checkbox"/> look up	(熟) 見上げる
<input type="checkbox"/> swan	(名) 白鳥
<input type="checkbox"/> all the way to ~	(熟) ~までずっと
<input type="checkbox"/> weather permitting	(熟) 天気が許せば
<input type="checkbox"/> ahead of ~	(熟) ~よりも先に

P92

<input type="checkbox"/> situate	(動) 置く, 位置させる
<input type="checkbox"/> command	(動) 見渡す
<input type="checkbox"/> operate	(動) 操作する
<input type="checkbox"/> abroad	(動) 外国へ
<input type="checkbox"/> inconvenient	(形) 不便な
<input type="checkbox"/> foreign	(形) 外国の
<input type="checkbox"/> compared with ~	(熟) ~と比較して
<input type="checkbox"/> commodity	(名) 日用品

第7章: 関係詞

<input type="checkbox"/> P100	(名) 娘
<input type="checkbox"/> daughter	(動) 投票する
<input type="checkbox"/> vote	(名) 候補者
<input type="checkbox"/> candidate	(動) 信じる
<input type="checkbox"/> believe	(形) 信用できる
<input type="checkbox"/> faithful	(名) 両方
<input type="checkbox"/> both	(動) 流暢に
<input type="checkbox"/> fluently	

<input type="checkbox"/> reason	(名) 理由
<input type="checkbox"/> introduce A to B	(熟) AをBに紹介する

P102

<input type="checkbox"/> be born	(熟) 生まれる
<input type="checkbox"/> hill	(名) 丘
<input type="checkbox"/> view	(名) 視界, 眺め
<input type="checkbox"/> lake	(名) 湖
<input type="checkbox"/> southern	(形) 南の
<input type="checkbox"/> commonly	(副) 一般に
<input type="checkbox"/> where S V	(構) SがVする場所
<input type="checkbox"/> prove	(動) わかる, 証明する
<input type="checkbox"/> lie	(名) うそ
<input type="checkbox"/> as is often the case with ~	(熟) ~にはよくあることだが

P104

<input type="checkbox"/> what ~ was	(熟) 昔の~
<input type="checkbox"/> = what ~ used to be	
<input type="checkbox"/> information	(名) 情報
<input type="checkbox"/> whoever V	(構) Vする人は誰でも
<input type="checkbox"/> = anybody who V	
<input type="checkbox"/> whomever S V φ	(構) SがVする人は誰でも
<input type="checkbox"/> = anybody whom S V φ	
<input type="checkbox"/> wish	(動) (したいと) 思う, 願う
<input type="checkbox"/> 否定語 先行詞 but	(構)ない~はない
<input type="checkbox"/> interesting	(形) おもしろい
<input type="checkbox"/> instructive	(形) 教育的な, ためになる
<input type="checkbox"/> what is more	(熟) さらに
<input type="checkbox"/> = moreover	

P106

<input type="checkbox"/> stay	(動) 滞在する
<input type="checkbox"/> while	(名) (少しの) 時間
<input type="checkbox"/> build	(動) 建てる
<input type="checkbox"/> roof	(名) 屋根
<input type="checkbox"/> relative	(名) 親戚
<input type="checkbox"/> economics	(名) 経済学
<input type="checkbox"/> subject	(名) 科目
<input type="checkbox"/> mechanism	(名) 仕組み
<input type="checkbox"/> society	(名) 社会

P108

<input type="checkbox"/> increase	(動) 増える
<input type="checkbox"/> of late	(熟) 最近
<input type="checkbox"/> several	(形) いくつもの
<input type="checkbox"/> hunger	(名) 飢え
<input type="checkbox"/> suffer	(動) 苦しむ, 悩む
<input type="checkbox"/> urgent	(形) 緊急の
<input type="checkbox"/> those who V	(構) Vする人々
<input type="checkbox"/> wonder	(動) ~かしらと思う

<input type="checkbox"/> affection	(名) 愛情
<input type="checkbox"/> what has become of ~?	(熟) ~はどうなったか

■ 第8章: 比較

P110

<input type="checkbox"/> population	(名) 人口
<input type="checkbox"/> 倍数詞 as ... as ~	(構) ~の□倍...だ
<input type="checkbox"/> twice	(副) 2倍, 2度
<input type="checkbox"/> half	(副) 1/2, 半分
<input type="checkbox"/> 比較級 than any other ~	(構) 他のどんな~よりも...

P112

<input type="checkbox"/> fiction	(名) 小説
<input type="checkbox"/> rainfall	(名) 降水量
<input type="checkbox"/> toy	(名) おもちゃ
<input type="checkbox"/> choose	(動) 選ぶ
<input type="checkbox"/> 比較級 than any other	(構) 他のどんな~よりも...
<input type="checkbox"/> 単数名詞	
<input type="checkbox"/> one of the 最上級 複数名詞	(構) 最も...なものの中の1つ

P114

<input type="checkbox"/> wild	(形) 野生的な
<input type="checkbox"/> wolf	(名) 狼
<input type="checkbox"/> as 原級の形容詞 (副詞) as ~	(構) ~と同じくらい...
<input type="checkbox"/> the 最上級 ~ (that) S	(構) これまでにSがVした中で一番...な~
<input type="checkbox"/> have ever Vpp	
<input type="checkbox"/> the 比較級 S ₁ V ₁ , the	(構) ...にS ₁ がV ₁ するほど,
<input type="checkbox"/> the 比較級 S ₂ V ₂	(構) ...にS ₂ はV ₂ する
<input type="checkbox"/> all the 比較級 for ~	(構) ~ [SはV] なのですます
<input type="checkbox"/> [because S V]	

P116

<input type="checkbox"/> no less than ~	(熟) ~も
<input type="checkbox"/> = as many/much] as ~	
<input type="checkbox"/> no more than ~	(熟) ~しか
<input type="checkbox"/> = only ~	
<input type="checkbox"/> 倍数 [分数] as ... as ~	(構) ~の□倍...だ
<input type="checkbox"/> flavor	(名) 味, 風味
<input type="checkbox"/> inferior	(形) 劣った, 下級の
<input type="checkbox"/> superior	(形) 優れた
<input type="checkbox"/> quality	(名) 質
<input type="checkbox"/> facility	(名) 施設, 設備
<input type="checkbox"/> same	(形) 同じ
<input type="checkbox"/> Britain	(名) 英国
<input type="checkbox"/> impressive	(形) 印象深い
<input type="checkbox"/> to say the least	(熟) 控えめに言っても
<input type="checkbox"/> writer	(名) 作家, 書き手
<input type="checkbox"/> journalist	(名) 新聞記者, 報道関係者
<input type="checkbox"/> scholar	(名) 学者
<input type="checkbox"/> A rather than B	(構) BというよりもむしろA
<input type="checkbox"/> = not so much B as A	

<input type="checkbox"/> P118	(名) 女優
<input type="checkbox"/> actress	(熟) Vしないくらい分別はある
<input type="checkbox"/> know better than to V	(熟) 単に, 簡単に
<input type="checkbox"/> simply	(副) わくわくする
<input type="checkbox"/> exciting	(形) 映画
<input type="checkbox"/> film	(名) 映画
<input type="checkbox"/> important	(形) 重要な
<input type="checkbox"/> respect	(動) 尊敬する

P120

<input type="checkbox"/> less than ~	(熟) ~よりも少ない
<input type="checkbox"/> audition	(名) オーディション, 聴力
<input type="checkbox"/> snake	(動) ぐらつかせる, 振る
<input type="checkbox"/> resolution	(名) 決心
<input type="checkbox"/> no more ... than ~	(構) ~でないと同様...ではない
<input type="checkbox"/> no less ... than ~	(構) ~と同様に...である
<input type="checkbox"/> pleasant	(形) 楽しい, 好ましい
<input type="checkbox"/> autumn	(名) 秋
<input type="checkbox"/> 否定語 as[so] ... as ~	(構) ~ほど...なものはない
<input type="checkbox"/> require	(動) 必要とする
<input type="checkbox"/> electric	(形) 電気の

■ 第9章: 仮定法

P122

<input type="checkbox"/> disappear	(動) 消える
<input type="checkbox"/> what would become of ~?	(構) ~はどうなりますか

P124

<input type="checkbox"/> apply for ~	(熟) ~を志願する
<input type="checkbox"/> position	(名) 立場, 位置
<input type="checkbox"/> forgive	(動) 許す
<input type="checkbox"/> betrayal	(名) 裏切り
<input type="checkbox"/> follow	(動) 従う, あとについていく
<input type="checkbox"/> succeed	(動) 成功する

P126

<input type="checkbox"/> wet	(形) 濡れた
<input type="checkbox"/> electronics	(名) 電子工学
<input type="checkbox"/> expert	(名) 専門家
<input type="checkbox"/> as if S V	(構) SがVするかのごとく
<input type="checkbox"/> were it not for ~	(構) 現在~がないならば
<input type="checkbox"/> = if it were not for ~	
<input type="checkbox"/> = but for ~	
<input type="checkbox"/> = without ~	
<input type="checkbox"/> entrance	(名) 入学, 入口
<input type="checkbox"/> if it had not been for ~	(構) 過去に~がなかったならば
<input type="checkbox"/> = had it not been for ~	
<input type="checkbox"/> = but for ~	
<input type="checkbox"/> = without ~	

P128

- ☐ otherwise (副) さもないければ、その他の点で、別の方法で
- ☐ fail (動) (試験に) 落ちる、失敗する
- ☐ assignment (名) 宿題、割り当て、課題
- ☐ early (副) 早く
- ☐ financial (形) 財政的な
- ☐ carry out ~ (動) ~を実行する
- ☐ housework (名) 家事

P130

- ☐ propose (動) 提案する
- ☐ recommend (動) 勧める
- ☐ professor (名) 教授
- ☐ feel (動) 感じる
- ☐ downtown (副) 中心街で[に]、商業地区で[に]
- ☐ empty (形) 空の
- ☐ building (名) 建物

P132

- ☐ kindness (名) 親切
- ☐ die (動) 死ぬ
- ☐ insist (動) 主張する

第10章：その他

P136

- ☐ another (代) もう1つ
- ☐ by (前) ~までに(……してしまふ(完了))
- ☐ until [till] (前) ~まで(ずっと……している(継続))

P138

- ☐ what do you think of ~? (構) ~をどう思いますか
- ☐ what is ~ like? (構) ~はどのようなものですか
- ☐ accompany (動) 同行する
- ☐ charming (形) 魅力的な
- ☐ be under construction (動) 建設中、工事中

P140

- ☐ lazy (形) 怠惰な
- ☐ nor 助動詞 [be動詞] S (構) Sもまた……ない
- ☐ complain (動) 不平を言う

P142

- ☐ every ~ (形) ~おき、~ごと
- ☐ pay (動) 支払う
- ☐ fare (名) 運賃
- ☐ cost (名) 費用
- ☐ bill (名) 請求書
- ☐ fee (名) (専門的な) サービス料金
- ☐ charge (名) (一般的な) サービス料金
- ☐ hardly (副) ほどんど……ない
- ☐ information (名) 情報
- ☐ learn (動) 習う、学ぶ

P144

- ☐ whether S V (or not) (構) 名詞節：SがVするかどうか
- ☐ bring (動) 副詞節：SがVしようとしまいと連れてくる、もたらす
- ☐ it will not be long before S V (構) まもなくSはVするだろう
- ☐ delay (名) 延期
- ☐ result (名) 結果
- ☐ tell[show] 人 the way (構) 人に道を教える

中間テスト (STAGE 3：第7～10章)

P146

- ☐ be different from ~ (動) ~と異なっている
- ☐ recently (副) 最近
- ☐ go back to ~ (動) ~に戻る
- ☐ 否定文、much less ~ (構) ……ない、～はもちろん……ない

- ☐ suggestion (名) 提案
- ☐ situation (名) 状況
- ☐ chaotic (形) 混沌とした
- ☐ recommend (動) 勧める
- ☐ composition (名) 作文
- ☐ gym (名) 体育館

P148

- ☐ castle (名) 城
- ☐ precious (形) 貴重な
- ☐ support (名) 支持